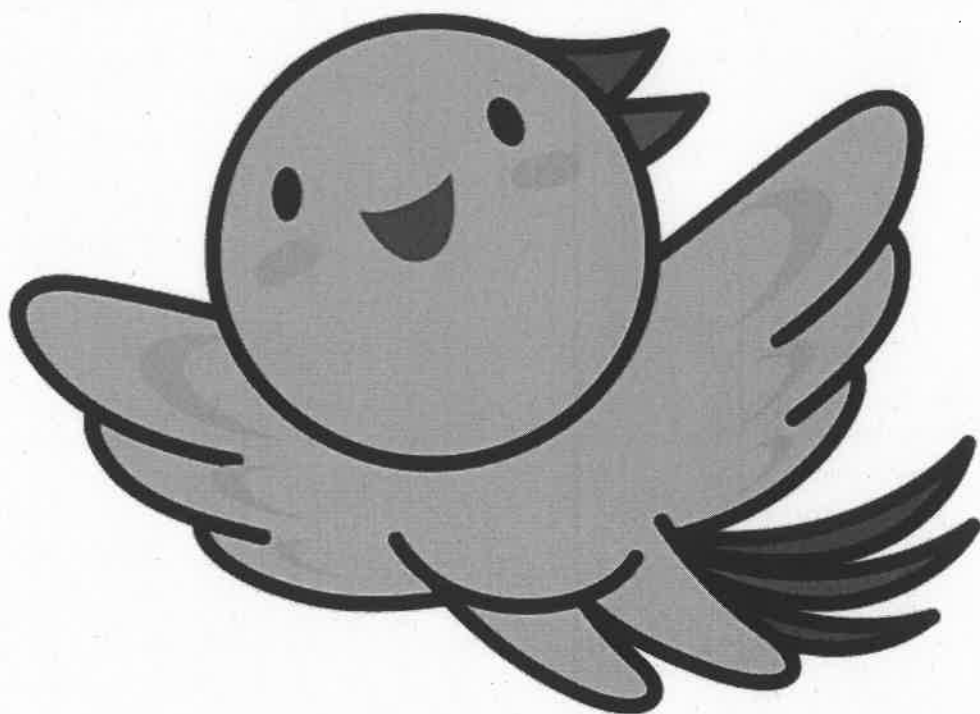


**2022年度
阪神南ふるさとづくり応援事業**

事例集



兵庫県阪神南県民センター

第1次募集分

市	事業名	団体名	ページ
芦屋市	高校生が発見・発信する芦屋の魅力	あしや部	1

第2次募集分

市	事業名	団体名	ページ
尼崎市	「元気と活気 長寿社会を楽しむ智慧」事業 ー今からでも遅くないー	潮江幸齢者ふれあいサロン	6
尼崎市	三世代交流「ウォークラリー」と「体力測定」による健康づくり事業	武庫第6コミュニティ委員会	11
尼崎市	第11回武庫之荘駅前ロータリー祭り	武庫之荘水と緑のまちづくりプロジェクト実行委員会	13
尼崎市	尼崎えびす神社 手づくり市	尼崎えびす神社手づくり市実行委員会	16
尼崎市	囲碁の学びで広げる阪神南地域の世代間交流	阪神南囲碁普及会	18
尼崎市	第20回契沖顕彰短歌大会	契沖の会	20
尼崎市	地元の子どものたちの憩いの拠点としてアミシング商店街を地元の住民や親子のコミュニティの場にする事業	アミシング潮江子ども企画部	23
尼崎市	音楽を通じて地域の交流・活性化を図る。	ミュージック・アップ・デイト	26
尼崎市	体育遊びネットワークづくり事業	特定非営利活動法人シンフォニー	28
尼崎市	2022あきんどフェスティバル ～尼崎あきんど倶楽部25周年～	尼崎あきんど倶楽部	32
尼崎市	蓬川フェスティバル	蓬川県民交流広場地域推進委員会	35
尼崎市	地域で楽しく繋がる防災	おぞの探検隊	37
尼崎市	都市農地活用による地域コミュニティ活性化事業	園北ファーム	40

市	事業名	団体名	ページ
尼崎市	ジャズコンサート2022	コミュニティルーム武庫運営委員会	43
尼崎市	空き店舗活用、大人と子どもの居場所づくり	NPO法人ASUネット	45
西宮市	フラッグフットボールとチアリーディング体験会の開催による地域内外交流イベント	特定非営利活動法人西宮フットボールクラブ	48
西宮市	第9回 廣田神社浪曲寄席	西宮浪曲を楽しむ会	50
西宮市	放課後等デイサービスの子も達と仲間がタンデムサイクリングを楽しむ会	NPO法人兵庫県障害者タンデムサイク	53
西宮市	室町時代のご当地曲 能「西宮」を謡おう!	能「西宮」を謡おう実行委員会	55
西宮市	臨海部のまちなみを探る ～消えゆく今津浜の景観とまちなみ×防災～	西宮まちなみ発見倶楽部	58
西宮市	ひきこもり高齢者の社会参加を促す 住民多世代交流活性化事業	なないろの会	64
西宮市	西宮ぎャラリーさんぽ2022	西宮ギャラリー連絡会	66
西宮市	段西っ子まつり	段上西県民交流ひろば運営委員会	69
芦屋市	HAI's講座	芦屋市朝日ヶ丘地区集会所運営協議会	72
芦屋市	子育てがしやすいまちづくり事業	tumugu	75
芦屋市	芦屋ファーマーズマーケット「暮らし野菜」	フライパン	79

1-1 高校生が発見・発信する芦屋の魅力／あしや部

活動地域	芦屋市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	芦屋市在住の高校生が、市や地域団体・企業と協働しながら、芦屋市の価値や魅力を高校生の視点で発見、発信していく。具体的には、市内の事業所の紹介、若者目線でのイベントの開催、市政への提言などを行いながら、魅力ある芦屋のまちづくりをすすめる。
事業内容	<p>【フリーペーパーの制作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芦屋の桜を見に行こう！&フリーペーパー配布（2022.4.2） 新学期初イベント。体験希望者を募り、リードあしや集合、阪神芦屋駅解散。 まずは芦屋川沿いの桜を見ながら北上し、サンモール商店街付近、JR芦屋駅付近のお店にペーパーを配布しながら、茶屋さくら通に向かった。国道2号線～国道43号線までの桜並木を楽しみ、国道43号以南のお店にもフリーペーパーを配布。桜を見ながら市内を散策することで、高校生同士の交流が深まった。 ・ ワインガーデン リブゴーシュの取材（2022.5.8） 公光町の同ワインガーデンに、ワイン専門店をなぜ開いたのか、どのような思いでワインの管理や販売を行っているのかを伺った。 ・ KiRa Studio主催 親子運動会ボランティア（2022.6.4） 市内で親子ヨガを主催されている団体の行事にボランティアとして参加した。 ・ 芦屋神社の取材（2022.6.12） 宮司の山西様より芦屋神社の成り立ちの説明や境内の案内をしていただいた。 ・ 私の戦争体験への参加（2022.7.9） 市内在住者・神戸市在住者による戦争体験を伺う行事に参加した。 ・ カレー屋さんへの取材（2022.7.18） 精道町のアンビカと船戸町のナワシャンティの2件のカレー屋さんに2グループにわかれて取材を行った。 ・ 東山公園イルミネーション設置ボランティア（2022.7.22） 夏の東山公園のイルミネーション設置を東山町自治会と一緒にいった。

・あしなび4号の表紙写真撮影（芦屋神社）（2022.8.7）

・リアル高校説明会（2022.8.20）

いろいろな学校に通っているメンバーがいるというあしや部の特徴をいかし、高校生活のリアルな実態を紹介するイベントを開催した。

・ピースカレー（茶屋之町）の取材（2022.8.27）

・芦屋のゴミ事情勉強会（2022.9.11）

芦屋市生涯学習出前講座を活用。環境施設課職員をお招きし、芦屋のゴミ事情の勉強会を実施。市のゴミの内訳や処方法といった基本的なことから、ダストシユートの今後の見通しや指定ゴミ袋導入など時事テーマまで学ぶことができた。

・奥池遊びの広場取材、芦屋の端っこへ行く～北端・西端編～（2022.10.2）

同施設の魅力を視察調査後、六甲山頂付近の芦屋市の北端・西端を訪れた。

・浜芦屋ふれあい秋祭り出店、芦屋の端っこへ行く～南端編～（2022.11.3）

浜芦屋ふれあい元気の会が行う秋祭りに出店し、お祭りを楽しむ多世代の方との交流後、芦屋の南端を訪問。護岸工事が終了し、海の前まで行くことができた。

・ケイナクチュール（浜町）の取材（2022.11.13）

・Teo 寄席の取材（2022.12.4）

東芦屋町の美容院 Teo hair で行われている寄席の取材に伺い、笑福亭鉄瓶さんにインタビューを行った。

・「パブリックコメント」ってなんなの？～芦屋で暮らす私の提言～への参加

（2022.12.18）リードあしや主催の同イベントに参加。尼崎市役所の江上昇さんの講義後、多世代で実際に提言をつくるワークショップを行った。

・JCR ファーマの取材（2022.12.23）

春日町の JCR ファーマ株式会社を訪問。会社の取組や働き方について伺った。

・あしなび5号表紙撮影（JR 芦屋駅）、芦屋の端っこへ行く～東端編～（2023.1.8）

西宮市との市境にある芦屋の東端を訪問。

・佐渡裕さんへの取材（2023.1.15）

Teo hair オーナーのご紹介で、芦屋市在住の世界的指揮者佐渡裕さんへの取材が実現した。コンサート前の貴重な時間をいただき、芦屋の街のことや音楽への向き合い方など、高校生が各々聞きたいことに答えていただいた。

・ 芦屋ナルクふれあいカフェ参加 (2023. 2. 25)

芦屋でボランティア活動をされている芦屋ナルク主催で、芦屋の福祉やボランティアに従事する団体同士の交流会に参加した。また、当日のカフェで高校生メンバーがスマホの使い方について高齢者の方へサポートを行った。

【カードゲームの制作】

・ カードゲームづくり入門 (2022. 7. 24)

宝塚市在住のゲームデザイナーを講師にお招きし、カードゲーム・ボードゲームの体験会とカードゲームの作り方の講演をしていただいた。一般参加も呼びかけ、様々な世代の方との交流にもなった。

・ 芦屋版カードゲームを考える (2022. 11. 20)

幻冬舎「東大・東田式 頭が良くなる都道府県ゲーム」を参考にし、芦屋の町名を題材にしたカードゲームを制作することとなった。まず都道府県ゲームを体験し、どのように芦屋版にしていくのかアイデアを出し合った。

※幻冬舎には都道府県ゲームをもととしたカードゲームの制作について許可をいただいている。

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数		
						スタッフ	参加者	
事業経過	4	4	2	芦屋市内	芦屋の桜を見に行こう！	1	7	
		4	24	リードあしや	ミーティング	2	8	
		5	8	リードあしや	ミーティング	2	6	
		5	8	リブゴーシュ	リブゴーシュの取材	1	2	
		6	4	青少年センター	親子運動会ボランティア	5	約 20	
		6	12	芦屋神社	芦屋神社の取材	2	7	
		6	12	リードあしや	ミーティング	2	8	
		7	9	シルバー人材センター	私の戦争体験	5	約 20	
		7	18	芦屋市内	カレー店の取材	2	9	
		7	18	リードあしや	ミーティング	2	6	
		7	22	東山公園	東山公園ボランティア	3	7	
		7	24	リードあしや	カードゲームづくり入門	3	8	
		8	7	芦屋神社	あしなび4号の表紙撮影	2	7	
		8	7	リードあしや	ミーティング	2	10	
		8	20	リードあしや	リアル高校生説明会	3	約 30	
		8	27	ピースカレー	ピースカレーの取材	1	5	
		9	11	リードあしや	芦屋のゴミ事情勉強会	4	8	
		10	2	奥池遊びの広場	奥池遊びの広場取材	3	25	
		10	2	六甲山	芦屋の端っこに行こう北・西	2	8	
		11	3	県営住宅広場	潮芦屋ふれあい秋祭り出店	18	約 300	
		11	3	南芦屋浜	芦屋の端っこに行こう南端	1	10	
		11	13	ケイクチュール	ケイクチュール芦屋の取材	1	5	
		11	20	リードあしや	芦屋版カードゲームを考える	2	8	
		12	4	Teo hair	Teo 寄席の取材	1	4	
		12	18	リードあしや	パブコメってなんなの？	3	10	
		12	23	JCR ファーマ	JCR ファーマの取材	1	5	
		5	1	8	JR 芦屋駅	あしなび5号の表紙撮影	2	9
				8	リードあしや	ミーティング	2	9
8	西宮市境			芦屋の端っこに行こう東端	1	7		
15	県立芸術文化センター			佐渡裕さんへの取材	3	15		
2	5			リードあしや	ミーティング	2	9	
2	25	リードあしや	芦屋のふれあいカフェ参加	2	10			
目標の 達成状況	<p>フリーペーパー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行回数目標 2回→2回 ・ページ数目標 16 ページ→4号 16 ページ、5号 20 ページ ・発行部数目標 2,000 部→4号 2,000 部、5号 2,500 部 ・配布先目標 40 件→50 件以上 							

	<p>カードゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試作品を制作することはできたが、ゲームバランスを調整し、製品化（非売品）するところまではいかなかった。
<p>事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーペーパーの制作を通じて、自主的・積極的に取材を行いたいというメンバーがでてきた。自ら企業にアポイントを取り、取材の日時や内容を交渉する力がついてきた。 ・フリーペーパーを見て、あしや部の存在を知り、入会する高校生やボランティアの依頼をする団体がでてきた。 ・フリーペーパー設置店が 50 件を超え、毎回発行を楽しみにしてくれている事業所が増えた。またフリーペーパーを実際に高校生メンバーが事業所に届けることで高校生と街の事業所との接点が生まれている。 ・芦屋市は狭い・小さいというイメージがあるが、実際には 60 の町があり、それぞれのエリアで違う風景・文化がある。都道府県を芦屋市の町名にかえてカードゲームの制作を行うことで、芦屋市内の多様性や特徴について考える機会を持てた。
<p>補助金交付終了後の事業展開、今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーペーパーについては次年度も引き続き 16 ページ以上、年 2 回発行する。次年度から応援会員制度（年会費制）を創設し、継続的な自主財源の確保に努め、一部に自主財源を用いて制作を行う。 ・すでに様々な地域イベントの出演・出店依頼が入ってきている。出店によっても地域との交流を推進するとともに、自主財源の確保も行う。 ・フリーペーパー配布にご協力いただいている企業との商品開発にも挑戦したい。 ・カードゲームは製品化（非売品）を目指し、ゲームバランスを調整し、市民向けの体験会を開催する。

【事業実施状況を示す写真等】



2-1 「元氣と活氣、長寿社会を楽しむ知恵」事業 —今からでも遅くない—
 / 潮江幸齢者ふれあいサロン

活動地域	尼崎市
協働団体	NPO 法人「歌と音楽の会」
事業の 目的・趣旨	毎月2回～3回、定期的に集会を開催し、生活の中にリズムとメリハリを持たせることより、高齢でも元気に活躍している人に出会いことで、生きがいを見出だすとともに認知症予防の一助となる。
事業内容	<p style="text-align: center;">潮江幸齢者ふれあいサロンは、次の内容を柱として運営している</p> <p>I サロンとしての事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個人の活動内容の発表の場の提供 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自論を発表する。 (2) 自分の研究テーマを発表する 源氏物語の研究・郷土史の研究・民族学の研究など (3) ボランティア活動を発表する 2. 趣味の世界の活動を発表する <ol style="list-style-type: none"> (1) ミニコンサートの場の提供 (2) 詩吟発表会場の提供場の提供 3. 社会見学会の実施 <ol style="list-style-type: none"> (1) 青山文庫見学会（尼崎市文化協会に協賛） (2) オペラ鑑賞会の開催 4. 自分史など作成支援事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 随想集・短歌集・写真集作成支援 5. 尼崎市活性化のための各種提言事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 尼崎市全市公園化構想の提案 (2) 尼崎城を中心とした観光事業の促進提言 (3) 尼崎東部と大阪夢洲の橋建設事業の提案 <p>II 支援共催事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 短歌個性阪神 (毎月第3土曜日開催) 2. 川柳サロンはなみずき (毎月第3土曜日開催) 3. 尼崎を美しくする会 (随時) 4. 自彊術体操教室 (毎月第1・第3月曜日開催)

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過					別紙添付資料の通り		
目標の達成状況	<p>本年度は、合流の場を広げることを目標としていた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 江戸時代の尼崎の第二藩主であった青山家の末裔（青山幸克氏：西宮在住）が会に参加してくれた。復元された尼崎城の活用について議論をし、今後の活用方法について委員会をつくり、尼崎市に各種の提言をすることになった。 詩吟の会を主宰している溝田岳祐氏の参加もあり、今後尼崎で同好会や詩吟教室を開催する方向で検討を進めることになった。 本年度は、尼崎市文化協会との共催で、社会文化施設の見学会を実施し、好評だったため来年度も実施の方向で検討を進めていきたい。 						
事業効果	<ol style="list-style-type: none"> 参加者が会の楽しさを知人や友人に紹介してくれるため、各界の多様な方の参加が増えた。 他の団体との交流も増えて、存在感が益々大きくなった。 						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<ol style="list-style-type: none"> 尼崎城の活用するための機関として、青山家顕彰文化財団の設立の検討を進める。現在、篠山鳳鳴高校が管理している江戸時代の篠山青山家が収集した「青山文庫」の尼崎市への移管の検討をすすめる。 詩吟を尼崎市で広めるため、同好会や詩吟教室の開催を検討する。 尼崎市への各種提言機関としてシンクタンクの機能を深めていく。 						

【事業実施状況を示す写真等】



「令和4年度」阪神南ふるさとづくり応援事業：実施行事内容

(別紙4-2)

No.	実施日	集 会 名	講 話 題	講 師 名	スタッフ	参加数	備 考
01	4月12日(火)	第1回集会	高齢者の財託の考え方 — 健康第一：節税の工夫 —	日本FP協会兵庫支部 濱道吉則氏	6	18	
02	4月19日(火)	第2回集会	発達障害について	発達障害支援団体役員 浅野大氏	6	16	
03	4月26日(火)	第3回集会	現在の社会問題を考える懇談会	コミュニティサロン はなみずき	7	18	行事変更
04	5月10日(火)	第4回集会	「第1回」根木良一の自論 — 尼崎・小田村今昔物語 —	潮江幸齢者ふれあいサロン 会長 根木良一氏	7	17	
05	5月17日(火)	第5回集会	「第2回」私の源氏物語 — 第21帖「少女」を読む —	元尼崎市立七松小学校長 高田昌子氏	7	15	
06	5月24日(火)	第6回集会	ミカドの周辺 — 国号の制定ほか —	元尼崎市立産業高校長 雀部倉平氏	6	16	
07	6月14日(火)	第7回集会	「第2回」根木良一の自論 — 人間の細胞について —	潮江幸齢者ふれあいサロン 会長 根木良一氏	6	17	
08	6月21日(火)	第8回集会	江戸時代尼崎城第二藩主青山家の事績	尼崎城第二藩主青山家末裔 青山幸克氏	7	18	
09	6月28日(火)	第9回集会	家仕舞いアラカルト — 遺品の整理方法と課題 —	スリーマインド 社長 屋宜明彦氏	6	14	
10	7月12日(火)	第10回集会	「第3回」根木良一の自論 — 地球リズムの中の人間 —	潮江幸齢者ふれあいサロン 会長 根木良一氏	6	15	
11	7月19日(火)	第11回集会	サマーコンサート ① バイオリン演奏 ② 歌唱 ③ ハーモニカで歌おう	① 村上清三氏 ② 中野博雅氏 ③ 浦富健二氏	7	15	

「令和4年度」阪神南ふるさとづくり応援事業：実施行事内容

No.	実施日	集會名	講話	講題	講師名	スタッフ	参加数	備考
12	7月26日(火)	第12回集會	「押さえておきたい相統対策」		関西相統診断士会副会長 杉村浩氏	6	11	
13	8月9日(火)	第13回集會	「向こう三軒両隣」 — 近所が地域解決のツール —		地域課題解決コンシエジュ 星英光氏	6	14	
14	8月23日(火)	第14回集會	「邪馬台国はどこにあったか」 — 魏志倭人伝を読み解く —		古代歴史研究家 山田勝氏	7	15	
15	8月30日(火)	第15回集會	「防災アラカルト」 — 必要な対策を見直そう —		ひょうご防災特別推進員 新山千恵氏	7	17	
16	9月20日(火)	第16回集會	「第3回」私の源氏物語 — 第一巻：桐壺を読む —		元尼崎市立七松小学校長 高田昌子氏	6	15	
17	9月27日(火)	第17回集會	「第4回」根木良一の自論 — 地球に主は誰だ —		潮江幸齢者ふれあいサロン 会長 根木良一氏	6	14	
18	10月11日(火)	第18回集會	「随想や地誌から見た江戸時代の社会」		民俗学研究家 辰巳衛治氏	6	14	
19	10月18日(火)	第19回集會	「江戸時代代尼崎城第二藩主青山家の業績」		尼崎城第二藩主末裔 青山幸克氏	7	14	
20	11月8日(火)	第20回集會	「第4回」根木良一の自論 — 人生の終点の助 85歳記念講演 —		潮江幸齢者ふれあいサロン 会長 根木良一氏	7	13	
21	11月10日(木)	社会見学会	篠山青山家収集書籍：青山文庫の見学 (尼崎市文化協会主催事業)		篠山鳳鳴高校他	3	5	
22	11月22日(火)	第21回集會	「郷土史の発掘」 — 富松城の歴史 — (尼崎市出前講座)		尼崎市立歴史博物館学芸員 樗野一裕氏	7	16	
23	11月26日(土)	音楽鑑賞會	オペラ：リゴレット鑑賞		吹田市文化ホール大劇場	6	27	
24	12月13日(火)	第22回集會	「歎異抄を読む」 — 多くのの人に読み継がれる宗教書 —		中世宗教史研究家 雀倉平氏	6	16	

「令和4年度」阪神南ふるさとづくり応援事業：実施行事内容

No.	実施日	集會名	講話	講題	講師名	スタッフ	参加数	備考
25	12月20日(火)	第23回集會	「クリスマス」ミニコンサート		バイオリン演奏 清三氏 村上演奏 利子氏 ピアノ演奏 坂口氏 歌唱 中野雅弘氏 ハーモニカ演奏 浦富健二氏 コミュニティサイロン はなみずき	7	25	
26	12月27日(火)	特別企画	「有志年会」 今年の私の漢字を選び、参加者各人が 想いを述べる 「第4回」私の源氏物語 — 第5帖 若紫 — 「笑顔相続のための不動産専門家の提案」		元尼崎市立七松小学校長 高田昌子氏 相続相談士 見育弘氏 コミュニティサイロン はなみずき	6	16	
27	1月17日(火)	第24回集會			元尼崎市立七松小学校長 高田昌子氏	6	18	
28	1月24日(火)	第25回集會			相続相談士 見育弘氏	6	17	
29	2月3日(金)	特別企画	恵方巻を食べる会 — 日本の節句文化を考える — 「詩吟の楽しみ」		コミュニティサイロン はなみずき	6	13	
30	2月21日(火)	第26回集會			新大阪岳風会顧問 溝田岳祐氏	6	19	
31	2月28日(火)	第27回集會	「保護観察官35年」 — 少年非行を考える —		元法務省奈良保護観察所長 青山幸克氏	6	15	
32	3月14日(火)	第28回集會	「第6回」根木良一の自論		朝江幸齢者ふれあいサロン 会長 根木良一氏	6	21	
33	3月21日(火)	第29回集會	「映像で見る日本の原風景」		アマチュア映像作家 根岸絹代氏	6		

2-2 「三世代交流ウォークラリー」と「体力測定」による健康づくり事業

／武庫第6コミュニティ委員会

活動地域	尼崎市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>地域住民の健康意識を高めるとともに誰もが生涯にわたって健康を保持し、充実した人生を送ることを目的とする</p>
事業内容	<p>1. ウォークラリーの実施(10/15)</p> <p>・地域の子ども、保護者、高齢者が3人1組になって協力し合いながら、パークタウン西武庫南地区から交通公園とBHL(一戸建て住宅)、北団地を回り、ポイントごとに出されるミッションやクイズに挑戦しながら21組55人が交流を図った。</p> <p>①のポイントでは、大縄飛びとクイズに挑戦。 ②のポイントでは、輪投げとクイズに挑戦。ここで暑さ対策のためお茶で少し休憩。 ③のポイントでは、パターゴルフに挑戦。少しむずかしいクイズにも挑戦。 ④のポイントでは、鶴などの折り紙とクイズに挑戦。</p> <p>パークタウン西武庫の北団地では、はばタンとあまっこと一緒になってバルーンアートを楽しむとともに、フライドポテトもおいしくいただきました。</p> <p>2. 体力測定(10/15)</p> <p>・個人参加で、地域の住民がそれぞれの目標値を目指し、体力測定に挑戦しました。</p> <p>武庫体育館の2人のインストラクターの指導のもと、片足立ち、上体起こし、立ち幅跳び、長座体前屈、握力の種目に挑戦し、これからの体力づくり、健康づくりなどに役立てました。</p> <p>また、健康づくりコーナーでは、地域の方々の健康づくりへの相談にも応じるとともに、各種パンフレットを設置して健康づくりの情報提供を行った。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	4	7	8	パークタウン 西武庫	役員会の開催	6	
		8	1	〃	実行委員会の開催	10	
		9	1	〃	事業の準備	15	
		10	14	〃	事業の準備	15	
		10	15	パークタウン西武庫 西武庫公園 BHL 団地	事業の実施	42	137
目標の 達成状況	<p>ウォークラリー : 21組55人</p> <p>体力測定 : 22人</p> <p>その他 : 見学人・健康づくり相談等60人</p>						
事業効果	<p>三世代が事業に参加することにより交流を図り絆を深めるとともに、健康づくりへの意識の高揚を図ることができた。</p>						
補助金交付 終了後の事業 展開、今後の 展望	<p>今後は、自治会員だけでなく、多くの地域の住民が参加でき、より世代間交流ができるよう取り組んでいきたい。</p> <p>健康づくりの情報提供や相談コーナーは、引き続き各種イベントの際に設置していく。</p>						

【事業実施状況を示す写真等】



2-3 第11回武庫之荘駅前ロータリー祭り

／武庫之荘水と緑のまちづくりプロジェクト実行委員会

活動地域	尼崎市
協働団体	尼崎市、尼崎市教育委員会
事業の 目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 第11回駅前ロータリー祭りは、新型コロナウイルスの鎮静化が条件ではあるが地元の小中高校生の吹奏楽やバトンの出場、地元事業所のグルメ店の出店、市民参加のフリーマーケットの開催等々、新型コロナ禍により失われた武庫之荘の活性化を図る催しにしたい。 一昨年に続き、障害者団体・介護事業所などに祭りを主体的に担っていただき、障害者・高齢者が利用しやすい環境づくりをめざしたい。(ユニバーサル社会) 市民の寄付による駅前昭和歴史遺産保全運動の一環として、南口の Gondola 噴水のリニューアルにつなげて、街の歴史・魅力として若い世代・住民に伝えていきたい。 同時に、放置自転車では最後の課題として残っている駅北の駅前事業所等の利用者用の一時駐輪場の設置を目指したい。 <p>新型コロナ禍にあつて2年連続活動の継続を図るべく地下道ギャラリーを開催してきた。「駅前ロータリー祭り」を縮小開催から計画通りの規模で開催し、新型コロナ禍で失われた地域コミュニケーションの再生と駅前の環境改善と賑わいのあるまちづくりをめざしたい。</p>
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 第11回・武庫之荘駅前ロータリー祭り と き：2022年11月27日(日) ところ：阪急武庫之荘駅前北側・南側ロータリー 対 象：一般市民 内 容：ユニバーサル社会の展望、自転車の利用しやすい環境の整備と駅周辺のランドマークの紹介 中村百合子氏「Gondola」のリフォーム 尼崎市武庫地域センターと協議中の為、今年度は実施できなかったが、次年度実施に向けて今後も協議を続ける。 自転車マナーキャンペーン と き：2022年4月から2023年1月(毎月第2水曜日) ところ：武庫之荘地区及びその周辺 対 象：一般市民 方 法：チラシ入りティッシュの配布、放置自転車へのタグ付け 水路清掃 と き：2022年4月から2022年1月(毎月第2土曜日) ところ：武庫之荘駅北水路

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	4	9	9	テレビエ	第77回実行委員会	11名	
	4	11	25	駅地下道	地下道園児ギャラリー展開催	9名	多数
	4	12	2				
	4	11	27	パレード	三角公園～武庫之荘駅北	30名	200人強
	4	12	2	コープ武庫之荘	コープ武庫之荘の展示場で展覧会を実施した	6名	
	4	12	9				
	4	4	9	武庫之荘駅前 周辺水路	水路清掃 毎月第2土曜日	5名～ 8名	
	5	1	14				
	4	4	13	武庫之荘駅前	自転車マナーキャンペーン 毎月第2水曜日	10名 ～20 名	
	5	1	11				
	4	4	27	武庫之荘駅北 側	駅前清掃 毎月第4水曜日	3名～ 8名	
	5	1	25				
目標の 達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 第11回ロータリー祭りはコロナ禍で縮小開催となったが、今年は園児ギャラリーに加えて小、中学の生徒によるパレードを実施し、大いに盛り上がった。 ● ユニバーサル社会の実現に向けての取り組みは縮小開催となったことにより、具体的には進まなかった。 ● ゴンドラの修理は武庫地域全体の取り組みとすべく、尼崎市武庫地域センターと協議を継続している。今年から実行委員会に地域センターより職員が参加をすることになり、一歩前進したが、修理実施には至らなかった。 ● 放置自転車の啓発活動は、駅前の金融機関やシルバー人材センターの協力で毎月進める事ができた。一時駐輪場の設置については、駅周辺の金融機関等の協力がむつかしく実施は困難であるが、今後も努力したい。 ● 水路清掃は水プロの会員で月1回のペースで実施、駅前清掃も月1回のペースで駅前の金融機関の協力を得て実施する事ができた。 						

<p>事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地下道ギャラリーは、ほぼ定着しているので多くの方が親しみを持っていていただいている。今年も追加でコープ武庫之荘の協力を得て店舗でのギャラリーを実施する事ができた。 ● パレードはコロナ禍で3年ぶりの実施となった。武庫東中学校吹奏楽部と西山パトンスクールは3年間ぶりの実施で成功を危惧する声もあったが、しっかり演奏と演舞が盛り上げ、ウィズコロナに向けて盛り上げてくれた。
<p>補助金交付終了後の事業展開、今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 今年度も新型コロナ禍の感染防止の観点から、イベントは大幅に縮小し、昨年も実施した地下道園児ギャラリーの開催に加え、小中高生のパレードについては感染対策を取りながら開催でき、地元からは沢山評価していただいた。来年度は全面開催したい。 ● 中村百合子氏「ゴンドラ」のリフォームについては、武庫地域センターも実行委員会に参加し、事務折衝は進んでいる。コロナの影響で思うようには進展はしていないが、何とかリフォームを実施したい。

【事業実施状況を示す写真等】



地下道園児
ギャラリー

- ◆ 場所
阪急武庫之荘駅
地下道
- ◆ 期間
11月25日～
12月2日

2-4 尼崎えびす神社 手づくり市 / 尼崎えびす神社手づくり市実行委員会

活動地域	尼崎市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・売り手が作成した手作り物の販売を通して人と人との交流を促すこと。 ・市内外の人に来ていただくことで地元商店街を含む地域活性化に繋げること。 ・一つ一つの手作り物に込められた想いや心を感じてもらうこと。 ・老若男女また日本に住む外国人のコミュニティ参画の場になること。
事業内容	<p>尼崎えびす神社及び神田公園にて手作り物の販売（テント・ござ 48店）</p> <p>A. 出店</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 雑貨 ② 飲食 ③ ワークショップ （食品サンプル、Tシャツプリント、似顔絵を描く） <p>B. 書道展</p> <p>地域の書道教室 生徒による「尼崎川柳」の展示。 当日の来場者の書道スペースを設け、応募可能とした。 来場者に良いと思う川柳を審査、投票をしてもらい、1位～3位を決めて 商品を贈呈した。</p> <p>C. 舞台パフォーマンス（7グループ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 竹谷小学校 和太鼓クラブによるオープニング 2. つれづれ（三味線・ピアノ・フルート重奏） 3. 昭和歌謡 4. キッズダンス（地元こどもダンス教室） 5. 創作ダンス 6. アマック25（尼崎にちなんだクイズ 1位は商品を授与） 7. 大人和太鼓 <p>以上 A. B. C の 3 部門で構成</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	4	6	3	尼崎えびす神社	第1回実行委員会	12	11
		7	18	尼崎えびす神社	第2回実行委員会	12	8
		8	10	地元商店街	ポスター、チラシ配布 (4000枚、500枚)		
		8	21	尼崎えびす神社	第3回実行委員会	12	4
		9	15	尼崎えびす神社	第4回実行委員会	12	8
		9	18	中央公園 神田公園	看板・幟・ポスター設置 看板・幟設置	12	6
		9	25	尼崎えびす神社 神田公園	テント、舞台、区画整備・設営 尼崎えびす神社手づくり市	12	4
目標の達成状況	<p>コロナが少し落ち着いた状況の中、来場者は多く(3,500人ほど)に達した。市外からも来客者があり商店街を通り、利用する方も多かった。今年、尼崎市観光局が地域で開催するイベントをまとめ、「AMAZONE フェス」として、PRに貢献下さったので、他のイベントとの良い相乗効果ともなった。年々、認知度も高まり、行政の前向きな協力も得ることができているので、参加者、出展者にも広く伝わり活性化していると実感している。</p>						
事業効果	<p>駅前中央公園に看板、幟を1週間設置させてもらったことで、手づくり市の認知度が高まり多くの人から地域活性化を応援する声をかけてもらった。コロナ禍で多くのイベントが中止になる中、多くの人々のストレス解消イベントにも繋がったと思う。地域の人とコミュニケーションを取り、対策をきちんと取りながら開催し無事終了できたことを喜んでいただけたと感じた。「コロナ社会と共存する」という概念も少し発信できたと思う。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>今後のコロナ状況にも影響すると思うが、地元地域に根差したこのイベントを拡大していきたい。今後、ますます利便性、コスト削減、時短に配慮される社会になる反面、時間もコストもかけた「ものづくり」、「こだわりのあるもの」も求められる傾向になると思う。それらを提供する機会を作り、交流の中で「目に見えないもの」「思いやる気持ち」なども感じてもらえるイベントにしたい。また地域の多くの人、行政にも協力を得て、つながりのある暮らし、良い社会に繋がるよう暖かな内容を考えていきたい。</p>						

【事業実施状況を示す写真等】



2-5 囲碁の学びで広げる阪神南地域の世代間交流 / 阪神南囲碁普及会

活動地域	尼崎市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>囲碁という世代・年齢の区別なく学ぶことが可能なゲームを気軽に学べる場所と仕組みを提供する。囲碁を初めて学んだ入門者は年齢の区別なく対等な条件でゲームを楽しめるので、楽しみながら世代間の交流を図れるようになる。囲碁という共通のプラットフォームを持つことで、相互に親睦を深め地域の活性化を図ることが目的である。</p>
事業内容	<p>尼崎市武庫元町の空手教室として多くの門下生を持つ実績のある道場を最初の拠点として入門者（全く囲碁は未経験の方）対象の囲碁教室を開講します。対象者は地域に住む「囲碁を学んでみたい」という方です。未就学児でも保護者同伴なら受入可能としました。</p> <p>効果的な指導と現在の新型コロナ感染予防に配慮した運営方法として、換気に配慮しマスク着用のうえ指導対局を行い、局後の検討（振り返り）を行うという指導方法をとりました。</p> <p>また囲碁を指導する際には、対局開始時には「お願いします」、対局終了時には「ありがとうございました」といった「礼に始まり、礼に終わる」というマナー指導を徹底しました。それにより勝敗にこだわらず、互いに礼節を守り、気持ちよく人間関係を作る雰囲気を作ります。</p> <p>講師は代表者が担当しました。</p> <p>期間中の活動実績としては、令和4年6月から令和5年2月まで、合計10回囲碁教室を開講し、延べ20余名の参加者がありました。参加者の年代構成は小学2年生から60歳以上の方まで幅広く、指導対局と交流対局を楽しんでいただきました。</p> <p>イベントとして総当たりリーグ戦の企画を8月に実施予定でしたが、折悪しくコロナ禍による小学校の休校措置と時期が重なり、やむなく中止となりました。</p> <p>当初は月2回の開催でしたが、講師の都合により途中から月1回開催に変更しました。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	4	6	12	練武館	囲碁教室（指導・交流対局）	3	2
		6	26	練武館	囲碁教室（指導・交流対局）	3	2
		7	10	練武館	囲碁教室（指導・交流対局）	3	1
		8	8	練武館	総当たりリーグ戦（中止）	2	0
		8	28	練武館	囲碁教室（指導・交流対局）	3	2
		9	25	練武館	囲碁教室（指導・交流対局）	3	4
		10	23	練武館	囲碁教室（指導・交流対局）	3	4
		11	20	練武館	囲碁教室（指導・交流対局）	3	6
		12	18	練武館	囲碁教室（指導・交流対局）	3	3
		5	1	29	練武館	囲碁教室（指導・交流対局）	2
目標の達成状況	<p>当初1日6名程度の参加を目指しましたが、2-4名程度の参加者の回が多かったです。目標人数には届きませんでした。個別指導を充実させることができました。世代間交流については幅広い年代の参加者があり、交流対局を実施できたので、人数的な広がりについては課題を残しましたが、世代間交流という点については初期の目標を達成できたと評価しております。</p> <p>参加人数拡大のきっかけとしてイベントを企画しましたが、コロナ感染状況の悪化により実施できず残念でした。</p>						
事業効果	<p>今回の事業を通じて以下の事柄を確認しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・90分で囲碁を楽しめるという初期導入教育手法の有効性 ・世代間交流のツールとしての囲碁というゲームが適していること ・対局マナーを指導することで年齢差があっても円滑な関係づくりが可能になる。 						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月一回の囲碁教室を基本として安定的に受講者を確保する ・空手教室を通じた広報のほかに新たな参加者を獲得するための広報を強化する ・若年層だけでなく親世代とその上の世代の方に訴求するイベントを考案する ・事前予約によるネット活用対局について試験実施する 						

【事業実施状況を示す写真等】



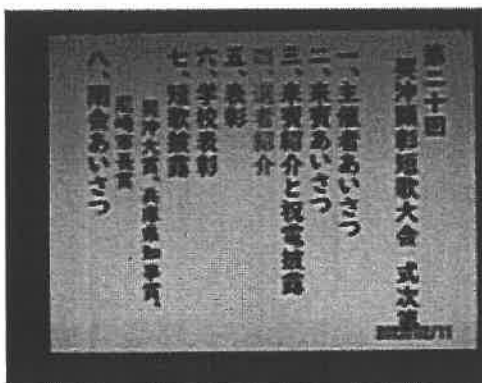
2-6 第20回契沖顕彰短歌大会 / 契沖の会

活動地域	尼崎市
協働団体	園田学園女子大学
事業の 目的・趣旨	<p>今年で20回目を迎える「契沖顕彰短歌大会」は、会員を含む一般社会人だけではなく、小学生、中学生、高校生、大学生からも短歌作品を募集している。</p> <p>今年は、新たにWEBでの応募を呼びかけた。</p> <p>児童・生徒・大学生にも応募を呼び掛けるのは、短歌を創作することにより語彙力・表現力を磨くことができ、日本の伝統文化への興味や再認識にもつながり、教育効果が高いと考えるからである。</p> <p>兵庫県だけでなく全国から広く作品募集を行うことにより、契沖という人物、および和歌集などによる契沖の国学研究の功績・認知を広めることができ、ひいては、契沖誕生の地でその事務局もある「短歌の街・尼崎市」のアピールにもつながると考えている。</p>
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 募集要項作成、告知開始（7月～） <ul style="list-style-type: none"> ・会員、昨年以前に応募があった個人へ告知（約200名）、短歌の先生方へ応募依頼。 さらに市内12か所の生涯学習プラザ、尼崎ロータリークラブ、プロバスクラブ、尼崎文化協会、他短歌会などにも短歌大会の募集要項を配布し、短歌の応募活動に協力していただいた。 大学内でも応募要項を設置し、学生のみならず生涯学習受講者にも応募を呼び掛けた。 ・ホームページ再構築、また短歌誌に応募要項を掲載し広く募集する。 2. コロナ禍ではあったが、総会を6月18日に、さらに勉強会の開催は、4月16日、5月21日、7月16日、9月17日、10月15日の5日開催した。 3. 応募締め切り（9月30日） <ul style="list-style-type: none"> 第一次選考（11月6日） <ul style="list-style-type: none"> ・一般→選者による選考 ・児童、生徒→教員OBによる選考 ・大学生→契沖の会会長による選考 4. 第二次選考（12月10日） <ul style="list-style-type: none"> ・一般、児童、生徒、大学生→選者（6名）により選考し、受賞者（特別賞、契沖賞、山の井賞）を決定。 5. 大会の実施については、役員会を12月10日実施（小田南学習プラザにて）し、第20回の短歌大会の表彰式を実施する方向で決定。 6. 受賞者連絡（1月初旬）、賞状・楯・『詠草集』など作成（1月下旬） 7. 短歌大会（2月11日開催） 8. 賞状・楯・『詠草集』の発送（2月15日）

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	4	7	6	尼崎市立中央 中学校	応募要領を中学校長会で説明、 配布	2	30
	4	7	8	尼崎市教育総 合センター	応募要領を小学校長会で説明、 配布	2	42
	4	10	7	尼崎市教育総 合センター	小中高第1次選考に関する説明	1	8
	4	11	19	園田学園女子 大学	村山保夫氏による記念講演会 「尼崎で生まれた契沖さんは、 すごい人」 短歌大会選者会（第2次選考）	10	20
	4	12	10	尼崎市小田南 生涯学習プラ ザ	短歌大会の開催決定	3	10
	5	1	15	尼崎市小田南 北生涯学習プ ラザ	第20回契沖顕彰短歌大会表彰式 を大講義室において開催。その後、 安田純一生氏による特別講演会 「契沖と歌枕」実施。	2	80
	5	2	11	園田学園女子 大学	欠席者の賞状、盾、『詠草集』発 送作業	2	8
	5	2	15	園田学園女子 大学			
目標の 達成状況	<p>初めに掲げていた「応募総数 12,000 首以上」はコロナ禍の中にもかかわらず、13,732 首で微増であった。</p> <p>一般の部、児童・生徒の部は、昨年よりも人数・歌数ともに微増した。その結果、応募料の収益は昨年より微増したことになった。</p> <p>しかしながら、一般の部の短歌作品については、関東・中部地方からの応募があり、少しずつではあるが新しい地域からの応募も増えてきたといえる。また、阪神間の高等学校に応募用紙を送りつつ、尼崎市立高等学校に呼びかけたところ、市立尼崎高等学校、市立尼崎双星高等学校からの参加もあった。一昨年から大学生の部を新たに作ったことにより、十代後半～二十歳代からの応募があったことは、年代に広がりが生まれて作品にも新鮮さが加わることになった。</p>						

	<p>さらに、ホームページの充実もあり、今後の活動においてはさらに全国的に周知されて、ますます期待できる結果につながると予想される。</p> <p>応募者数：13,444名 総歌数 13,732首</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般の部 (1人5首まで応募可能) 78名 (209首) ・児童・生徒の部 (1人1首) <ul style="list-style-type: none"> 小学生10,033名 中学生 2,448名 高校生 799名 ・大学生の部 (1人3首まで可能) 86名 (243首)
事業効果	<p>今年の短歌大会も応募に対するモチベーションを上げる目的で、「契沖大賞」だけではなく、知事賞、教育長賞など多くの賞を設定することができた。</p> <p>今年はコロナ禍の中、全体的には応募は増加した。また一般応募も中部、関東地方からの応募もあった。</p> <p>また、特別に『詠草集』に6名の選者による優秀作品の講評を載せることができたことと、大会授賞式を実施できたことにより、応募者の方々に直接対面で賞状を手渡しできたことにより、さらに新聞各社においても記事を掲載していただいたことは、今後の作歌に対しての意欲づけになったと考えている。</p>
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>本年は「契沖の会」を紙媒体以外でもアピールすべく、ホームページなどを利用して短歌大会や短歌勉強会等の会員増強活動のPRにつなげたが、今後もホームページの充実、SNSの活用により、応募拡大並びに会員拡大となるよう努めたい。</p>

【事業実施状況を示す写真等】



式次第



式場

2-7 地元の子どもの憩いの拠点としてアミシング商店街を地元の住民や親子のコミュニティの場にする事業 / アミシング潮江子ども企画部

活動地域	尼崎市
協働団体	アミシング潮江商店街振興組合
事業の 目的・趣旨	<p>親子で地元商店街にて長時間ゆっくり過ごしてもらい機会を設けて、訪れる親子同士の交流を図りこの活動を通して地元の活動に参加する機会を設け、また事後にも商店街を集いの場として利用し、また日々の買い物などで活用してもらえよう商店街ともタッグを組んで実施する。</p>
事業内容	<p>1、商店街でイベント</p> <p>2022年10月22日 親子でハロウィン 親子で仮装してスタンプラリーや子ども向けゲームを開催。 並行してアミシング商店街のマスコットキャラクター“アミちゃん”が子どもたちにとって、街のアイドルとして親しい存在になるきっかけの1つとして”アミちゃん衣装コンテスト“を開催。年齢問わず、アミちゃんに装着してほしい衣装をイラストで募集。当日掲示し投票制で1位を決定。1位選ばれた衣装は実際に制作の上、クリスマスイベントの際お披露目するイベントを開催。</p> <p>2022年12月17日 親子クリスマス</p> <p>クリスマス为主题に子ども向けワークショップやゲームを開催。 10月22日のハロウィンイベントで行った衣装コンテストで1位に選ばれた衣装を実際に制作し、マスコットキャラクターのアミちゃんに装着してもらいお披露目をした。1位に選ばれた衣装を書いてくれた方及び入賞された方を表彰。 いづれもアミシング潮江商店街振興組合主催の商店街イベントと同日実施。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	4	9	27	アミシング潮江振興組合会議室	ハロウィンイベント運営会議	10	
		10	22	アミシング潮江商店街	ハロウィンイベント開催 アミちゃん衣装コンテストイラスト募集	30	約 350
		11	24	アミシング潮江振興組合会議室	クリスマスイベント運営会議	10	
		12	17	アミシング潮江商店街	クリスマスイベント開催 アミちゃん衣装コンテスト衣装表彰式。衣装お披露目。	35	約 100
目標の達成状況	<p>アミシング潮江商店街界隈は、昔ながらのなじみの住人や新築のマンションに転入してきた若い世代の親子連れが入り混じっている地区である。しかしコロナ禍でイベントが開催できず、商店街を拠点にコミュニケーションを図るのが難しかったが、今回、アミシング商店街のマスコットキャラクターアミちゃんの衣装のイラスト画を募集したところ思いのほか反響があり、約100を超える応募があった。当日も、家から書いたイラスト画を商店街に持参したり、当日は親子連れ、子ども、高齢の女性も楽しくイラストを描く姿を見受けられたので一定の効果はあったと思う。通行人や参加者に投票してもらうため、応募のイラストを一斉に張り出したところたくさんのイラストを目の前に、どれにしようか楽しそうに迷う姿もみられた。衣装コンテスト表彰のクリスマスイベント開催当日は、あいにくの雨のだったため予想より下回る参加人数（約100名）だったが、表彰式及び衣装お披露目を楽しみに来たという声を聞くことができ、開催をすることができよかったと思う。</p>						
事業効果	<p>アミシング商店街のキャラクターアミちゃんを通じて、衣装を考え応募するといった過程は親子間のコミュニケーションともなり、また衣装が実際制作されるということに、わくわくし、一生懸命考えたという子供の意見も聞いた。アミシング商店街に来る楽しみ、また会える楽しみを実感してくれる機会になったと感じる。またイベントを秋と冬の2つに連携させることにより、楽しい商店街というPRになったと思う。</p>						

補助金交付
終了後の事
業展開、今
後の展望

衣装コンテストの反響が思いの外よかったので、また時期を変えて第2弾を開催できればと思う。

来年度は、マスコットキャラクターアミちゃんを中心に一緒に遊べる企画（かくれんぼや、おにごっこ）などを考えている。

また、商店街の来客から、アミちゃんとどんなことをしたいか？

どんなことをしたら、楽しそうか？などのアンケートを取る機会を設け

希望の方には企画段階から参加してもらい、一緒に考え、実行できれば多くの人とコミュニケーションがさらに図れるのではないかと考える。

資金面では、商店街の協賛や子ども企画でゲームコーナーなどを営み補助金に頼らない事業運営ができるように努めたいと思う。

【事業実施状況を示す写真等】



2-8 音楽を通じて地域の交流活性化を図る / ミュージック・アップ・ナイト

活動地域	尼崎市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>音楽の練習場所・発表場所が少ないという地域課題に応じて、音楽を通じての地域住民の友好からの街づくりを目指した演奏会を定期的で開催し、世代を越えた交流の場としていきたい。</p>
事業内容	<p>毎月、第2日曜日 13:00~16:00の間、大庄元気むら（コープこうべ大庄店の跡地を活用したコミュニティスペース）のスペースを利用して、音楽を発信していくこととし、大庄元気むらと連携して、毎月第2日曜日をセカンド・サンデー（S・S）ミュージック day と位置づけ、JAZZ・ポップスを演奏した。</p> <p>また、バンド演奏をするだけでなく、当日使用した楽器（ギター、ピアノ、トランペット、ドラム、バンジョー、ウクレレ、オカリナ、サククス等）について、掘り下げて紹介し、楽器に対する理解を深めるとともに、演者と観客との交流を深めることができた。</p> <p>開催にあたっては、大庄元気むらが主催する各教室（ストレッチ教室、いきいき100才体操、絵画グループ、リフォームクラブなど）の参加者にチラシ配布するとともに、地域のお店（食堂、喫茶店、クレープ屋）等にチラシを掲出してもらう等、イベントの周知を依頼。そのほか、Facebook、Instagram等でイベント周知を行うなど、広報に努めた。</p> <p>2022年6月12日(日) 高須 JAZZ オーケストラ</p> <p>2022年7月10日(日) 都田賢一郎と仲間たち ウクレレ、オカリナ、フラダンス</p> <p>2022年8月14日(日) バンジョー天知グループ バンジョー、ギター、サククス</p> <p>2022年9月11日(日) 関西ポップスオーケストラ</p> <p>2022年10月9日(日) 山下かつみカルテット JAZZ、VOCAL、ピアノ、ベース、ドラム</p> <p>2022年11月13日(日) さんどまめ、新居浜チーム マリンバ シンガーソングライターチーム6~7名</p> <p>2023年1月8日(日) 新春ビッグバンドショー ビッグバンドプラス VOCAL F.M</p> <p>2023年2月12日(日) 三木エレキバンド</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	22	6	12	大庄元気むら	BIG バンド. 生演奏 JAZZ	5	35
	22	7	10	〃	ウクレレ演奏. オカリナ フラダンス	4	21
	22	8	14	〃	バンジョー演奏ウエスタン物	5	17
	22	9	11	〃	Big バンド. J ポップ. 歌謡曲	6	23
	22	10	9	〃	スモールコンボ. JAZZ. VOCAL	5	21
	22	11	13	〃	マリンバ演奏. オリジナルポップ ス	4	40
	23	1	8	〃	新春 Big バンドショー. ヴォーカ ル	5	34
	23	2	12	〃	エレキバンド. ベンチャーズ	4	35
目標の 達成状況	<ol style="list-style-type: none"> 2022年6月から月1回の予定でJAZZ&ポップスとしてのパフォーマンスができた。(12月は尼西高の文化祭が開催) 初めての取り組みだったが、舞台装置の充実、PA設備の安定昼食の準備(50食)等ひとつひとつ着実にクリアしました。 						
事業効果	<ol style="list-style-type: none"> JAZZのBigBandスモールコンボの演奏で参加した地域の人々から「よかった」との声が聞かれ、回を進めるに「次はなにをやるの」と期待された。 コロナで落ち込みがちの気持ちが音楽を楽しむことで、少しずつ活気、元気が参加者の表情にでているようだった。 <p>とにかくやってみようとしてスタートしたが、今後継続が大事だと思う。</p>						
補助金交付 終了後の事 業展開、今 後の展望	<ol style="list-style-type: none"> 毎月のパフォーマンスは継続していきます。 大庄元気むら近くの外国人居住者との音楽交流。 障害者、障害者施設等の交流も考えています。 当日参加者の1名(希望者)に似顔絵プレゼント。 参加者(お客さん)のリクエストを聞いてみて参考にしていく。 Exm、楽器の特集、歌の希望等々 						

【事業実施状況を示す写真等】



2-9 体育遊びネットワークづくり事業 / 特定非営利活動法人シンフォニー

活動地域	尼崎市
協働団体	生活協同組合コープこうべ
事業の 目的・趣旨	<p>生活協同組合コープこうべと連携し、廃業になったコープこうべ大庄店の広いスペースを利用し(賃貸契約で借りている)、子どもが思いっきり体を動かせる場を提供し、地域の定住外国人や高齢者を講師として登録し、多世代・地域全体で子どもを育てていく。体育・運動遊びを通して、基礎体力の向上だけでなく、子どもの同士で、上級生と下級生とで協力し、協働で1つのことをやっていく。これにより、これからの時代に必要な異文化コミュニケーションや多世代交流の協働の力を養う。</p>
事業内容	<p>子どもの放課後の居場所づくりの一環として、体力向上の支援活動を行っていく。場所を提供するだけでなく、一緒に目標を立て、達成に向けたプロセスを楽しむ。また、体育で少しでも自信が持てるようにボール遊びや竹遊びなど魅力的な体育遊びを練習して「できる」ことを増やすことで自信につなげ、運動を楽しむ子どもたちを増やしていった。定住外国人による各国の子ども遊びも紹介し、子どもたちに異文化体験してもらった。</p> <p>事前に運営会議を開きました。</p> <p>体力向上の支援活動を子どもの放課後居場所づくりを行って行くにあたって地域の専門家、施設と連携し、いろいろな方法で場づくりを取り組む方法、実施体制を考えた。</p> <p>1. 英語ラジオ体操 (8/9、8/16、8/23、8/30) おなじみのラジオ体操を外国人講師にいれて英語で行うことで、児童・保護者を呼び込んだ(親子参加型) 講師：ソマイヤ先生、太田先生など 人員体制：保育士1名、外国人スタッフ2名、日本人スタッフ2名、大学生ボランティア3名 参加者数：9日4名、16日11名、23日10名、30日4名</p> <p>2. バルーンアート遊び 8/20 風船でいろんな動物・植物・玩具の形を作った 講師：池田悦子先生(保育士)等 人員体制：保育士1名、外国人スタッフ2名、日本人スタッフ2名、大学生ボランティア3名 参加者数：10名</p> <p>3. ボッチャ遊び 8/20 大庄地域のボランティア達とボッチャ遊んだ 講師：富岡、村瀬、山崎先生など 人員体制：保育士1名、外国人スタッフ2名、日本人スタッフ2名、大学生ボランティア3名</p>

参加者数:10名

4. バドミントン遊び 8/17

子供達は布地で絵を描いて、自分で作った点数地図で、楽しくバドミントン練習した。

講師：川西 真由美先生

人員体制：外国人スタッフ2名、日本人スタッフ2名

参加者数:2名(コロナ感染症流行している最中、参加者がキャンセルも出て、人数は少なかった)

5. 卓球遊び 8/24

講師：色川 千逢 (大和大学) 等

参加者数:6名

6. 中国将棋 8/25

講師：洪 玉英 (中国出身)、留学生等

サポーター：中国留学生3名、ベトナム人留学生1名

参加者数:6名

7. 世界の遊び体験会 8/31

中南米、アジア、ヨーロッパ等様々国の遊びを体験する。

内容：

サイプア・ポリバツ (韓国)

新しい手遊び

ベタンク (フランス)

小さい子供できる簡単ボール遊び

カバディ (インド)

ボールを使わないドッジボール

ピニャータ (中南米)

お菓子が入ったピニャータを上から吊るし、それで目隠しをして棒で叩き割る！

講師：関西地域各大学のインターン生

参加者数：5名

年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
					スタッフ	参加者
2022	7	3	コープこうべ店舗 跡地及びオンライン	運営会議 体力向上の支援活動を子どもの放課後居場所づくりを行って行くにあたって地域の専門家、施設と連携し、いろいろな方法で場づくりを取り組む方法、実施体制を考える。	世話人 (5名)	
		8	コープこうべ店舗 跡地及び 大庄公園	英語ラジオ体操 おなじみのラジオ体操を外国人講師に連れて英語で行うことで、児童・保護者を呼び込む(親子参加型) 講師：ソマイヤ先生、太田先生、大久保先生等	保育士1名、 外国人スタッフ2名、 日本人スタッフ2名、 大学生 ボランティア 3名	4名 11名 10名 4名
		9	コープこうべ店舗 跡地及び 大庄公園	バルーンアート遊びの 風船でいろんな動物・植物・ 玩具の形を作る 講師：池田 悦子先生(保育士)、大久保先生等		10名
		20		ポッチャ遊び 大庄地域のボランティア達と ポッチャ遊び 講師：富岡、村瀬、山崎先生	保育士1名、 外国人スタッフ2名、 日本人スタッフ2名、 大学生 ボランティア 3名、	10名
		17		バドミントン遊び 講師：川西 真由美先生など	大学生 ボランティア 3名、	2名
		24		卓球遊び 講師：色川 千遙(大和大学)、 大久保先生等	大庄地 域のボラ ンティア 4名	6名
25		中国将棋 講師：洪 玉英(中国出身)		6名		
		31		世界の遊び体験会 中南米、アジア、ヨーロッパ等 様々な国の遊びを体験する。 内容： サイプア・ポリバツ(韓国) 新しい手遊び ベタンク(フランス) 小さい子供でもできる簡単 ボール遊び カパディ(インド) ボールを使わないドッジボール ピニャータ(中南米) お菓子が入ったピニャータ を上から吊るし、それで目隠し をして棒で叩き割る！ 講師：関西地域各大学のイン ターン生	外国人 スタッフ2 名、日本 人スタッ フ2名、 大学生 ボランテ ィア3名	5名

事業経過

<p>目標の達成状況</p>	<p>元気むらの高齢者と協働することで、多世帯とのふれあいのポッチャ遊びも実施することが出来ました。又、周知について、Facebook等SNS活用することで、主なターゲット層である子育て世帯に向けて大きな効果を得ることが出来た。又、各国留学生、大学生と協働することで、面白い発想で世界の遊び、中国将棋遊びという楽しいイベントを企画しました。</p>
<p>事業効果</p>	<p>大学生だけではなく、在住外国人・地域の高齢者も企画段階から参加してもらい、より多世帯の交流が進むような、多くの人を巻き込んだ取り組みにした。</p> <p>コロナ禍の中で、子供達が運動できる交流できる居場所を作りました。世界の遊びも体験してもらいました。</p>
<p>補助金交付終了後の事業展開、今後の展望</p>	<p>来年度は、大庄元気むらの高齢者が主体になって取り組むような形で展開していきたい。</p>

【事業実施状況を示す写真等】



2-10 2022 あきんどフェスティバル～尼崎あきんど倶楽部 25 周年～

／尼崎あきんど倶楽部

活動地域	尼崎市
協働団体	尼崎商工会議所
事業の 目的・趣旨	<p>フェスティバル開催に伴い、計画立案や会議を通して会員同士の士気を高め合い開催までのプロセスを重要視することと共に、会員の知恵と協力で開催することを趣旨とします。一般来場者は元よりあきんど倶楽部会員も祭りを楽しみ、これまで欠席が続いていた会員にも参加を促し再度、例会や委員会へ出席したいと思えるような祭りの成功を目的とします。</p>
事業内容	<p>前日 9:00～設営開始 14:00 ごろ設営終了</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ステージ 10:00～開会式後 18:30 まで出演者、グループ演目 15 組 開会式では双星高校吹奏楽部の演奏で国家斉唱を行い、尼崎市長をはじめ多くの行政関係者に出席していただきました。松井里莉さんからの手紙を受取って市長から「大変重く気持ちのこもったお手紙いただいて涙がでそうになりました。ありがとうございました。」とお言葉をいただきました。 ●ビンゴ大会 予定時間内に行い多く子供達が参加しました。 ●飲食 20 物販 9 ブース出店 飲食ブースの内 5 店舗でご当地料理を提供しました。 ●ふわふわ遊具 利用料・現金 300 円・あま咲きコイン 200 円の利用料・通常 10 名利用可能のところ 5 人に設定 予め利用できる時間を設定したので混乱なく利用していただくことができましたが、チケットが 12 時代のチケットが印刷されていなかったことも原因のひとつですが 3/4 は断り、運営側の余裕があれば 1.5 倍～2 倍の収益は見込めます。現場の判断で利用者の入退室時の安全などは確保できました。 ●第 9 回 AMAGASAKIDANCECONTEST 開催 キッズ 10 組一般 9 組出場 2 時間 審査基準を設定して、公平な審査の結果一般の部では中学生のころから毎回参加してくれている現在 22 歳の女の子が優勝しました。 ●あま咲きコイン活用・促進活動

来場者特典の200Pは20万分を想定していましたが、89000円分にとどまりました。原因としてはインストールや説明を聞くのが面倒であると感じる人が多いのとあま咲きコインの使える店舗が少ないから必要性を感じないと聞きました。

●特典ブース

ダンスコンテスト参加者の参加賞とSNS投稿特典で611本のジュースの配布を行いました。

●映えスポット

ダンスの参加者や年配の方まで多くの方に写真を撮っていただいで喜ばれました。

●AED講習

9/6中消防署にて約2時間、各委員会代表者参加で行いました。

●PR活動

地域掲示板・あまエール・産経新聞掲載・小学校ポスター配布・amazon掲載・FM尼崎出演

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2022	4	5		出店者の募集	-	-
		4	18日	尼崎商工会議所 会議室	全体会議	20	-
		5	9日	尼崎商工会議所 会議室	全体会議	20	-
		6	20日		出展者説明会	20	25
		8	22日				
		9	24日	尼崎中央公園	設営	50	
		9	25日	尼崎中央公園	2022 あきんどフェスティバル	50	約 5,000
目標の達成状況	コロナ禍で沈んでいる地域の人々や飲食店、小売店を盛り上げ、地域経済を活性化させるためという目標を設定していたが、当日はかなりの来場者が見え、地域経済の活性化に取り組むことができた。また、参加者数ははっきりと数えられてはいないが、5,000名						
事業効果	近年コロナ禍でイベント事業の中止が続く中、フェスティバルを開催することができ、尼崎市民が楽しめる活気のある事業ができ、地域の事業者の利益に繋げることができた。また、キッズダンスコンテスト事業を1年ぶりに行うことができ、青少年育成事業に大きく貢献することができた。						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	次年度以降はコロナの影響にもよるが、開催を予定しており、行政・民間・地域が連携し、より多くの人を巻き込んだ事業を行いたい。また、資金面では、企業協賛や参加費徴収を行い、補助金に頼らず事業運営ができるように努める。						

【事業実施状況を示す写真等】



2-11 蓬川フェスティバル / 蓬川県民交流広場地域推進委員会

活動地域	尼崎市
協働団体	はなみずきの会
事業の 目的・趣旨	<p>コロナ禍により、蓬川地区においてみんなが集まってワイワイと楽しむ場がなくなっていることを受け、地域でお祭りをして新旧住民が親しく交流することを目的とする。</p>
事業内容	<p>7月9日 プレイベント 見て、笑って、楽しもう 参加者85名 大人49名 子ども36名 ○人形劇、玉すだれ、紙芝居を楽しむ ★ 人形劇 人形劇を初めて見たけれど楽しかった。 ★ 玉すだれ 56本の竹が伸びたり、縮んだり、あら不思議色々な形に変化するよ。 ★ 紙芝居 紙芝居とともに昔懐かしい型抜きをしました。なかなか抜けなかったけれど、でもみんなお菓子を貰い大喜びでした。</p> <p>7月16日 夏のつどい 参加者244名 大人119名 子ども125名 ○大人も子どももみんなで遊ぼう ★フリーマーケット 地域での募集 手づくり作品 2コーナー 家の不用品 2コーナー ★遊びのコーナー ・ストラックアウト ・スーパーボールすくい ・スライム作り ・くじ引き ・袋つり ★布で作ったおもちゃや手作りの大きなテントで癒されよう 初めて大きなテントを見て、実際に中に入って座れたので、座って一休み。</p>

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	4	4	8	成徳三図書館	運営会議	8	
	4	5	7	同上	同上	8	
	4	6	27	同上	同上	8	
	4	7	9	成徳三図書館	見て笑って楽しもう (人形劇・玉すだれ・紙芝居)	8	85
	4	7	16	成徳三図書館	大人も子どももみんなで遊ぼう (フリーマーケット、布のおもちゃで遊ぶ、大きなテントによる子どもの遊びのコーナー)	8	244
	4	7	25	成徳三図書館	運営会議	8	
	4	8	30	成徳三図書館	運営会議	8	
	4	9	5	成徳三図書館	運営会議	8	
	4	11	7	成徳三図書館	運営会議	8	
	5	2	1	成徳三図書館	運営会議	8	
目標の達成状況	見て笑って楽しもう		参加予定者 80名	結果人数 85名			
	大人も子どももみんなで遊ぼう		200名	244名			
事業効果	<p>○ 見て笑って楽しもう 玉すだれ、紙芝居、人形劇を見る 紙芝居と人形劇については、地域が主催するふるさと喫茶から出演の依頼へと繋がり、地域との交流の輪を広げることができた。</p> <p>○ 大人も子どももみんなで遊ぼう 大人も子どももみんなで遊ぼうでは、スタッフの心がひとつとなり、また次に何かができるのではないかという機運を高めることができた。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>次になにをやるかという機運の盛り上がりによって、県民交流広場の主団体である蓬川社会福祉連絡協議会から餅つきを地域で実施しようかとの提案があり、12月18日に実施することとなった。当日は、若い世代や高齢者世代など180名もの参加があり、交流の輪が広がった。</p> <p>また、2月27日にはひな飾りをしてひな祭り会を開催することが決定しており、次年度には、春のつどい、夏のつどいや盆踊りなどをしようかとの話が出ている。</p>						

【事業実施状況を示す写真等】



2-12 地域で楽しく繋がる防災 / おぞの探検隊

活動地域	尼崎市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>【自助】楽しく学ぶイベントで防災の知識を学ぶ、体験する。</p> <p>【共助】イベントの運営、実施を通して地域の繋がりを作る。</p>
事業内容	<p>◎避難所想定 学校キャンプ 対象 小園小中学校区、児童及び保護者と校区内地域住民、事業者等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の避難所を想定して、運動場で家族単位でのブルーシートシェルター泊 ・一人用飯盒 メスティンを使用してアルコール・マッチの扱いを学び・自炊する ・ゲームを通して親睦を深める <p>◎シェイクアウト訓練 対象 小園小中学校区 児童及び保護者と校区内地域住民、事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーで震災初動時の対応を訓練 ・クロスロードゲーム ・阪神大震災パネル掲示 ・ローリングストックコーナー <p>◎まち歩き探検 対象 小園小中学校区 児童及び保護者と校区内地域住民、事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習 町の災害リスクを考えよう ・災害時を想像しながらの防災散歩

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	4	10	8.9	小園小学校	避難所体験キャンプ ・ブルーシートシェルター泊 ・一人用飯盒 ・ゲーム ・カートンドッグ	5	44
	4	12	22	アマブラリ	シェイクアウト事前顔合わせ	3	10
	5	1	12	アマブラリ	シェイクアウト事前顔合わせ ・活動紹介等交流会 ・クロスロードゲーム ・シェイクアウト事前学習	3	8
	5	1	21	コープ近松店	シェイクアウト訓練 ・シェイクアウト ・クロスロードゲーム ・阪神大震災パネル掲示 ・SDGs スタンプラリー ・地域消防団にお話をきく ・非常持ち出し袋の掲示 ・ローリングストックコーナー	6	140
	5	2	23	アマブラリ 周辺道路	まち歩き探検 ・事前学習 ・防災散歩	5	11
目標の 達成状況	<p>数値目標は予約時点では達成です。 当日キャンセルを見越し、定員の1.5割増しで予約を取り、予定より少なくはなり ましたが誤差の範囲です。 全体の目標としましても、他団体との関係も大いに前進し、協同と自走で今後の運 営の目途が立ちそうなので全体を通して大達成です。</p>						
事業効果	<p>イベント後日公式LINEを通じ、参加者からは自主的な事後ワークの提出や、家庭 での話し合いの報告、イベント内で伝えきれなかった部分の質問などを頂けた。 楽しいイベントだけ終わらず、防災を自分ごととして捉え、自らの行動に落とし込 んで貰いたいという思いが参加者にもしっかり伝わっていると確証を得た。 他市の学校からの視察その後の報告会で紹介頂くなど、題材としても取り上げて頂 き、活動を紹介させてもらう機会がふえ、団体認知が進んだ。 小学校や高校、地域の消防団や災害救助医療班といった有事の際に最前線に立たれ る方々、コープ生活協同組合の地域活動推進部の第一本部にも関わってくださり、 次年度は他団体と協働して大きな動きができそうな流れができた。</p>						

	<p>参加者からは大人も子どもも楽しめたとの声が多く、特に交流が深まったとの声が多く運営に関わってくれる人も増えた。</p>
<p>補助金交付終了後の事業展開、今後の展望</p>	<p>学校キャンプは参加費を徴収する形で自走するイメージが出来たので、訓練や学習の時間を増やす形でバージョンアップして継続していきたい。 次年度シェイクアウトは協同団体を募り、大きな祭りとして行う予定。 費用面はコープこうべのサポートを利用予定 まち歩きも需要がありそうなので、チラシ配布を近隣幼稚園年長～小学1～3年生にして、継続して行いたい。</p>

【事業実施状況を示す写真等】



2-13 都市農地活用による地域コミュニティ活性化事業 / 園北ファーム

活動地域	尼崎市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>「食」はあらゆる世代に共通した話題です。安心安全な食べ物を、地域の人々が協力してつくることで、地域のつながりを深め、顔の見える、安心安全で優しいコミュニティの形成を促します。また植物による温暖化対策への貢献、ヒートアイランド現象の抑制、農地の水害時の緩衝効果、防災井戸の設置など、都市の農地は街の施設として重要な役割も期待できます。このような目的から、「まちづくり」に欠かせない「農」でつながるコミュニティファームづくりをしています。</p> <p>今事業では活動の認知を広める催しや機会づくりを行わせていただきました。</p>
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニティファーム尼崎善法寺にて野菜直売会 畑を始める初年度であるため、近隣地域にチラシを配布して案内し、野菜の収穫時期に合わせて適宜開催しました。 朝10時からの開催で、30分後には準備していた野菜が売り切れるほどの盛況でした。 1回での参加人数：40～50名 開催回数：3回 2. 農作業日での野菜販売 野菜直売会の開催により、畑で野菜が購入できることを知らせることができました。 それ以来、通常の農作業日でも、野菜購入に来られる方が増えました。 一日あたり5名前後 3. 大学との共同で、里芋収穫体験と里芋を中心とした加工品づくりのワークショップ開催 摂南大学、関西国際大学、甲南大学の講師の方々の協力をいただき、学生によるワークショップを開催しました。さまざまな新しいアイデアを参考にして「田能の里芋コロッケ」の試作を行いました。 参加人数：70名 4. 田能の里芋掘り掘り選手権開催 里芋の収穫期間は10月から翌3月までです。今年度の里芋収穫の最後日を迎え、感謝も込めて収穫祭を兼ねた本イベントを開催しました 参加人数：78名 5. 田能の里芋コロッケ尼崎戎神社奉納 試作した田能の里芋コロッケを尼崎戎神社に奉納。参加人数7人 境内にて試験販売を行う。

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	4	各月		JR西日本あいウィ ル事務所	打ち合わせ会議	7	
		7月	1日	コミュニティファ ーム尼崎善法寺	善法寺朝市開催	6	50
					畑での野菜販売開始 月、水、金曜日 (参加人数は一日あたり)	3	5
		10月	29日		善法寺朝市開催	6	40
		11月	27日		芋煮会(里芋の加工品づくり のワークショップ) ※田能の里芋コロッケの試作	15	55
	5	2月	18日		善法寺朝市開催	4	40
		2月	26日	伊丹市岩屋農地	田能の里芋掘り掘り選手権	10	68
		3月	22日	尼崎戎神社	田能の里芋奉納 ※里芋コロッケの試験販売	7	300
目標の 達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜直売会を定期的で開催することにより、畑で野菜が買えることが認知され、地域との繋がりを深めることができました。 ・芋煮会(里芋の加工品づくりのワークショップ)は、当初、畑に関わる方々の交流を目的としていましたが、大学生による「田能の里芋コロッケ」をテーマにした加工品づくりのワークショップに発展しました。そしてコロッケの試作を行い、試食アンケートを募るとともに、尼崎戎神社で里芋及び里芋コロッケの奉納と試験販売も行いました。 ・田能の里芋掘り掘り選手権は、尼崎市報での呼びかけにより、お子さん連れが多数参加し、想定を上回る大盛況でした。 						
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜直売会では、30分で野菜が売り切れる大盛況でした。直接購入できることを知らなかった、などの声もかけられ、その後の日常での販売につながる効果を得ることができました。 ・里芋の加工品づくりのワークショップでは、大学生の自由な発想が多く見られ、売り方やターゲットユーザーの想定、市場調査の必要性など、今後につながる意義あるワークショップを開催することができました。 ※摂南大学、関西国際大学、甲南大学より、学生48名参加 ・里芋掘り掘り選手権では、多くのお子さん連れが参加され、楽しく土に触れる機会づくりに貢献できました。綺麗に掘るということで、小さなお子さんでも競技ができる内容で大変盛り上がる会になりました。参加者数 大人32名 子供36名 						

補助金交付
終了後の事
業展開、今
後の展望

令和4年度の試みは、関わる人が増えつながることで、当初の目標を上回る広がりがあり収穫の多い一年にでした。
次年度も継続して、畑でつながるまちづくりを進めて行きたいと考えています。
補助金をいただいたことで、初期に必要な経費を捻出することができました。
ありがとうございました。

【事業実施状況を示す写真等】

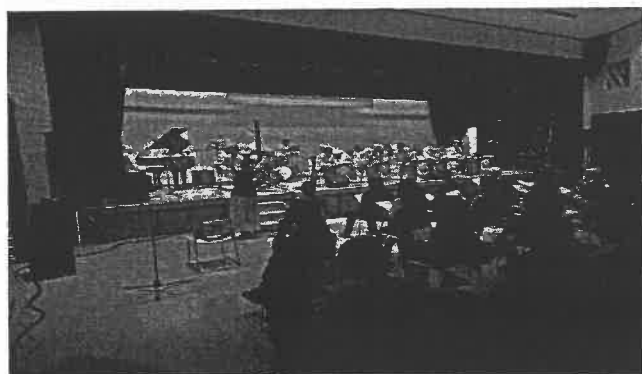


2-14 ジャズコンサート2022 / コミュニティルーム武庫運営委員会

活動地域	尼崎市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>さまざまな世代が楽しめる音楽やダンスを通じて、県民交流広場の世代間の交流の場とし、「生きがい・やりがい」を醸成し、地域活性化につなげる。</p>
事業内容	<p>1. 県民交流広場交流会 (11/4) 尼崎市武庫地区内にある県民交流広場の代表者が集い、コロナ禍における活動状況の情報共有やジャズコンサート実施に向けた打合せを行った。 参加者数：5会館5人</p> <p>2. ジャズコンサート2022 (12/10) 尼崎市武庫地域内の県民交流広場が連携し、本市を拠点に活動するジャズオーケストラを招いてコンサートを実施した。 コンサート開催時には各県民交流広場の取組を紹介し、地域の様々なコミュニティの活動拠点となっている会館の説明もあわせて行った。また、会場の後方に各会館のポスターを掲示し、参加者全員が各会館の情報を確認できるよう工夫を行った。 クリスマスソングなど子どもも楽しめる曲目を取り入れたプログラムとし、幅広い世代に向けた内容とした。また、コンサートの交流の場づくりとしてコミュニティルーム武庫運営委員会役員によるコーヒー・ジュースの提供も行った。 事業計画時には「ジャズコンサート&ダンスパーティ」としてジャズの演奏に加え、ダンスタイムも設ける予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためジャズコンサートのみの開催とした。また世代間交流のため、地区内の近隣の学校の吹奏楽部やブラスバンド部に参加等の声掛けを行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施することができなかった。 参加者数：113人（うち県民交流広場関係者16人）</p> <p>3. サンライズジャズオーケストラと振り返りの実施 (1/19) 令和4年度の実施結果について、振り返りを行った。参加者数：5人</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	4	11	4	尼崎市武庫西 生涯学習プラ ザ (1Fホール)	県民交流広場交流会 (各会館の情報共有および、事業 実施に向けた打合せ)	4人	5人
	4	12	10	尼崎市武庫西 生涯学習プラ ザ (3Fホール)	ジャズコンサート2022	12人	113人
	5	1	19	尼崎市武庫西 生涯学習プラ ザ (1Fホール)	サンライズジャズオーケストラと 振り返りの実施	2人	3人
目標の 達成状況	ジャズコンサートへの参加人数：113人（目標：80人）						
事業効果	地域の幅広い世代の交流の場とするとともに参加者の「いきがい・やりがい」を醸成し、地域コミュニティの活動拠点としての県民交流広場のPRを行った。事前に会場などをクリスマスらしく装飾する作業を子どもたちに手伝ってもらうことで、イベントの興味関心を持ってもらうように工夫を行った。その結果、子どもから高齢者まで幅広い世代の参加があった。また、開催前から実施に関する問い合わせもあり、武庫地区の12月のイベントとして定着してきている。						
補助金交付 終了後の事 業展開、今 後の展望	尼崎市武庫地域内の県民交流広場からの協賛金など財源を確保し、継続して実施していく。						

【事業実施状況を示す写真等】



2-15 空き店舗活用、大人と子どもの居場所づくり / NPO 法人 ASU ネット

活動地域	尼崎市
協働団体	尼崎 NPO 法人活動協議会・塚口癒しの小道実行委員会
事業の 目的・趣旨	<p>古民家空き店舗を活用して、大人や子ども達の集い、学びの場所を提供し、まち活気を取り戻して都市化したまちで人間関係、コミュニティを深める。年々地域で住む人たちのコミュニティの交流の場がなくなり、また新型コロナの影響などで、家に引きこもりの人が増加 解決策として大人と子どもたちが気軽に立ち寄れる居場所をつくることで街に活気が戻り住民が支え助け合えることを目的としています</p>
事業内容	<p>周辺の自治会、子供会、団体に呼びかけて空き店舗を活用して大人と子どもの交流イベントを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に優しい手作り教室（日曜大工 DIY 実習体験など） ・プロの大工職人さんから日曜大工の工具の使い方を学ぶ実習体験 2022 年 11 月 23 日（祝）～12 月 4 日（日） ・わが街の歴史紹介、塚口わが町の歴史小冊子づくり B5 小冊子完成 2023 年 1 月 28 日（土）（2009） ・断捨離品等地域の人たちからの頂いた品々を集めて、フリーマーケットを開催し地域交流 →環境に優しい手作り品などで交流を深める 2022 年 11 月 23 日（祝）・12 月 3 日（土）・12 月 10 日（土） 2023 年 1 月 28 日（土）

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数		
						スタ	参加者	
事業経過	4	7	9	永楽亭塚口ルーム	事業打ち合わせ 企画内容確認	8		
			8	5	永楽亭塚口ルーム	事業内容確認分担作業		10
		8	27	"	"	"		8
				"	"	"		"
		9	3	永楽亭塚口ルーム	チラシ内容確認配布作業	5		
				"	" 公共施設及び地域	6		
		10	15	永楽亭及び店舗	環境に優しい日曜大工 塚口歴史探訪めぐり	5		8
				"	"	5		
		11	19	永楽亭及び店舗	日曜大工実習体験	7		30
				"	塚口歴史探訪めぐり	5		
	11	23	"	フリマーケット地域交流				
			"	"				
12	3	永楽亭及び店舗	フリマーケット地域交流					
		"	"					
12	10	"	"					
		"	"					
5	1	28	永楽亭及び店舗 永楽亭塚口ルーム	フリマーケット地域交流 「塚口わが町」冊子完成				
目標の 達成状況	<p>1, 日曜大工実習体験・手作り教室ではプロの大工さんからの工具の使い方、作業の手順について学ぶことで自信がついた。</p> <p>2, わが町の歴史紹介、冊子作りは前回からの引継ぎでだったので講師の先生のアドバイスをもらいながら冊子の完成にこぎつけた。</p> <p>3, フリーマーケットは地域の人々が作った手作り品が好評でそれらを見にご近所の方々が立ち寄られ、当 NPO 法人の存在を知り、交流の場が深まった。</p>							

<p>事業効果</p>	<p>古民家空き店舗を活用して大人と子どもの居場所づくりは、環境に優しい日曜大工実習体験は時代のニーズに合って好評でプロの大工さんのアドバイスもあり工具の使い方や作業に自信がついた。</p> <p>町の歴史紹介マップ作りは前回からの引き続きのなかで課題だった冊子づくりは講師の熱心なアドバイスもあり塚口 わが町の歴史冊子完成出来た。</p> <p>前回に続きフリーマーケットで地域交流は新しいメンバーが増えて自宅で作っている方の環境に優しい手作り品は大変好評であった。これからも趣味を実益にされることで相乗効果で交流が深まった。</p>
<p>補助金交付終了後の事業展開、今後の展望</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1, 環境に優しい手作り日曜大工体験は工具の使い方をプロから学ぶ。 2, 実践体験は自宅での実践に役立ち好評で今後も続けていく。 3, わが町の歴史を知る小冊子マップ作りは2年かかり完成これをもとに地域だけでなく多くの人たちに、地域を訪れて頂き地域の人たちと交流が深まり、又他地区での見本となって広がりが見られると思う。

【事業実施状況を示す写真等】



**2-31 フラッグフットボールとチアリーディングの体験会開催による
地域内外交流イベント／特定非営利活動法人西宮フットボールクラブ**

活動地域	西宮市
協働団体	アスレチックリエゾン西宮
事業の 目的・趣旨	<p>本事業では、接触する危険なプレイがない簡易なアメリカンフットボール「フラッグフットボール」・チアリーディングの体験会を通じて、スポーツと応援の素晴らしさを知ってもらい、子どもの健全育成とともに地域社会のコミュニケーション強化を図り、社会育成の推進に貢献する。競技やレッスン中は子どもたちがともに楽しみ、アメリカンフットボール、フラッグフットボール、チアリーディングの面白さを理解してもらおう。</p>
事業内容	<p>西宮市及び周辺地域の小学生を対象に開催し、事業運営のマニュアルを制作し、ルール等を速やかにインプットする仕組みを作る。</p> <p>8月6日にキックオフミーティングを行い、参加スタッフ等を確定した。</p> <p>8月22日に企画会議を行い、SNSへの発信・チラシ配布などの広報活動を計画。</p> <p>10月31日に体験会を実施。参加者には記念品を贈呈した。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、保護者の参加は極力辞退していただいた。</p> <p>1月30日に報告会を実施。上と同様に縮小開催とし、保護者参加は極力辞退いただき、子どもたちからは感想文を受け取った。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	4	7	17	西宮市内	ミーティング チラシ、SNS等西宮市及び近郊に ポスティング等で広報活動	15	
		8	13	西宮市内	体験会開催	15	19
		12	3	西宮市内	体験会開催	7	11
		2	28		リモートミーティング	15	
		3	12	西宮市内	【補助対象期間終了後】 体験会開催	7	9
目標の 達成状況	年間 参加小学生目標 30名→合計 39名 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、大会を分散した。保護者の参加は極力辞退いただいた。						
事業効果	子どもや子育て世代といった若い世代に団体の活動を知っていただくとともに、体験会開催によって、子どもたちを中心に地域の交流が活性化した。						
補助金交付 終了後の 事業展開、 今後の展望	<p>団体として、今後も継続的に本事業を遂行するので、本事業が地域文化となり、地域社会のリーダーとなるよう期待する。</p> <p>〈中長期〉</p> <p>競技やレッスン中は、子ども・保護者たちがともに楽しみ、アメリカンフットボール、フラッグフットボール、チアリーディングの面白さを理解してもらえた。今後も定期開催し、年間 50人以上の子どもたちが体育活動できる状態としたい。また 2028年オリンピック種目となる可能性があり、オールジャパン選手を西宮市から輩出したい。</p> <p>〈最終目標〉</p> <p>本事業に参画した全員が兵庫県内の地域づくりや人づくりの核となる。</p>						

【事業実施状況を示す写真等】



2-32 第9回廣田神社浪曲寄席／西宮浪曲を楽しむ会

活動地域	西宮市
協働団体	広田参道を美しくする会
事業の 目的・趣旨	<p>高齢化社会が進行し、高齢者の地域社会に出かける機会が少なくなっている。また高齢者同士が交流をする機会も少なくなってきた。この現状を打開するため、比較的低額で身近な場所で浪曲を鑑賞できる機会を提供し、高齢者に生きがいと元気を与えることを目的に開催した。</p>
事業内容	<p>★浪曲師による浪曲寄席を低廉な価格で一般市民に提供した。</p> <p>★（公社）浪曲親友協会（関西の浪曲師・曲師が所属する団体）より、次の演芸家の派遣を受け、浪曲寄席を開催した。</p> <p style="padding-left: 40px;">*演目と浪曲師 「山 月 記」・・・真山 隼 人 「琴 の 爪」・・・天中軒すみれ</p> <p style="padding-left: 40px;">*曲師（三味線）・・・沢村 さくら</p> <p style="padding-left: 40px;">*案 内 役・・・芦川 淳 平</p> <p style="padding-left: 40px;">*拍 子 木・・・坂本 実千代</p> <p>聴講者数：130人（内訳＝一般参加者 119名、招待者 11名）</p> <p>★今回は、浪曲で聞く名作日本文芸のそのⅡ と銘打って実施した。</p> <p>このために、若い層にも古典芸能を体験してもらおうと、これまでと異なり、入場料の区分を一般参加以外に中高校生を対象とするために、入場料金を一般の半額の500円を新たに設定して開催した。</p> <p>★この為に、会場近くに立地している、「西宮市立上ヶ原中学校」及び「西宮市立西宮高等学校」に対して、公文書でPR方要請するとともに、チラシを持参し協力要請を行った。また、大前学園高校にもチラシの掲出などお願いした。</p>

	年	月	日	場 所	実 施 内 容	参加人数	
						スタッフ 11名	参加者 130名
事業経過					① 6月7日 阪神南県民センター長あてに名義後援依頼を行う。 ② 6月17日 廣田神社に会場提供についてをお願いをする。 ③ 7月3日 西宮文化協会会長宛に浪曲寄席の開催に協力要請方文書を発送。 ④ 8月初旬 出来上がったチラシを協賛事業者宛に招待券共々送付 ⑤ 8月初旬 市文化振興財団に各西宮市文化施設・公民館などへのチラシの配布方などPRについての格別のご配慮方、チラシを持参の上お願いに参上する。 ⑥ 8月24日 ダイレクトメールを発送し、本格的にPR 作戦展開する。 ⑦ 8月下旬 西宮市高齢者事業団、シルバー人事有センター、老人クラブ連合会、社会福井協議会、文化協会などの各機関にチラシを持参しPR 方を依頼する。 ⑧ 9月初旬 市立上ヶ原中学校・西宮高等学校長宛に文書を持参し、直接訪問しPR 方協力要請を行う。(後日チラシも届けた。)大前学園高校にも掲出依頼する。 ⑨ 9月初旬 地域情報誌ともも、神戸新聞他各新聞社に記事掲載方依頼する。 ⑩ 9月16日 協賛社にチラシと招待券を郵送する。 ⑪ 10月1日 寄席当日の事務応援を依頼している11名に、当日の応援要領などを記入した文書を郵送し協力要請を行う。 ⑫ 10月21日 会場へ舞台・スタンド型証明器具など、器材を搬入するとともに翌日の準備の打ち合わせ確認を行う。 ⑬ 10月22日 寄席当日、招待者11名を含め、130人の参加者を得て盛会に開催することが出来た。		
目標の達成状況					①コロナ禍への対策に万全を期す。→新たに体温測定器を購入し当日に備えた。また、11名のスタッフで、会場および出演者、スタッフ控室などすべて事前に消毒をするほか、入場者全員に手指消毒を辞した。開演中は3方向すべての窓を開閉し換気に勤めた。受付場所には、ビニールカーテンを設置した。 ②中高校生の入場枠を新規設定し、上記事業内容欄に記載のとおりPRに務めたが、実際には中高校生の参加が見られず、今後の課題となった。 ③招待者も含めて130名もの参加を得、皆様には、実に楽しく良かったと喜んでいただいた。とりわけ、ご高齢の方が多く、終了後にはお礼の電話が掛かってくるなど主催者として、この催し物の意義を改めて認識することが出来た。		
事業効果					<p>会場周辺の住民の方々との参画と協働団体の「広田参道を美しくする会」の協力の下に、ともすると外出が控え目になっているこの時期に、ご高齢の方に喜んでいただいたことは、正に当会の目指すところであり、その効果の手応えを感じているところである。</p> <p>これまでも、寄席を開催した後に、残金に会長の自己資金を投入して、市内の老人ホームやディサービスセンター、ふれあい昼食会などの会場に出かけて、訪問浪曲を実施しています。今回も残金を活用して、少なくとも2か所の施設に出かけて、高齢者の方々に昔懐かしい浪曲を楽しんでいただこうと企画しており実施して参ります。</p>		

<p>補助金交付 終了後の 事業展開、 今後の展望</p>	<p>資金面では、当初予定の企業協賛を10社と予定していたが努力した結果、13社の協賛が得られた。今後も協賛企業の増に努め健全運営ができるよう頑張りたい。</p> <p>お手伝いいただいた方々の力も借りながら、日常でのPR活動により参加者の増を図り、現代社会が失いかけている心の通い合う、地域社会づくりを目指すこととする。</p> <p>併せて、若い方への古典芸能に触れる機会を設定することに努めたい。</p>
---	---

【事業実施状況を示す写真等】



**2-33 放課後等デイサービスの子ども達と仲間がタンDEMサイクリングを楽しむ会
/NPO 法人兵庫県障害者タンDEMサイクリング協会**

活動地域	西宮市
協働団体	障害のある子どもを持つ親の会 ゆうきっこクラブ
事業の 目的・趣旨	<p>コロナ禍の中で様々なイベントが中止になり、心身共に健康であるためにはスポーツが欠かせないと感じています。公道より安全な場所、西宮市立西宮支援学校体育館でタンDEMサイクリングを活用して元気に過ごしていただきたい。</p>
事業内容	<p>対象者 ゆうきっこ親の会のスタッフ、メンバー児童。</p> <p>実施方法</p> <p>自転車のサイズ、高さ、ペアの組み合わせを前もって考えようと思っただが、数日前に参加決定される方もいて当日となった。親子の組み合わせは毎回1組程度。</p> <p>マスクをする、揃いのビブスを着るヘルメット着用などして実施した。</p> <p>障害のためマスクができない、ヘルメットを被れないなどの子どもがいたが、子どもに応じて対応できた。</p> <p>自転車にまだ乗れない子ども、二人乗りなら自転車に乗れる子どもにサイクリングの楽しさを感じてもらえた。</p> <p>場所 自動車が横切らない安心な西宮市立西宮支援学校を使った。</p> <p>雨が降りそうな日もあり、場所を体育館に設定してよかった。</p> <p>また、クーラーで快適な室温を保ち、かつ扉をあけ、換気にも気をつけることができた。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	4	7	16	西宮市立西宮支援学校（体育館、中庭）	タンデムサイクリングを楽しむイベント①	9	9
		8	20	同学校（体育館、中庭）春風公園	タンデムサイクリングを楽しむイベント②	7	8
		9	3	同学校（体育館、中庭）、春風公園	タンデムサイクリングを楽しむイベント③	8	8
目標の達成状況	<p>放課後等デイサービス、ゆうきっこさんのメンバーとそのご家族に参加していただき、タンデムサイクリングを楽しんだ。延べ人数合計 49 人ほど参加。競技ではないので、タイム目標はありません。3 回順調に楽しみました。ビブスを作成し、子ども用ヘルメットも購入でき、安全面レベルがあがりました。実施日は、夏の暑い日となりましたので、熱中症にならないよう水のペットボトルを渡し、水分補給に気を付けた。</p>						
事業効果	<p>ヘルメットを被り、安全にタンデムサイクリング車で体育館を走り、風を切って進むサイクリングの楽しさも味わっていただけた。</p> <p>CO2 排出が少ない移動手段で且つ健康的でたのしいサイクリングが、健康増進のお手伝いとなります。整備されたサイクリングロードは自動車が入らず、信号もなく風を感じ、風になる気分を味わえるので、いつか子ども達に堪能してもらいたい。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>NPO 法人兵庫県障害者タンデムサイクリング協会が、ゆうきっこさんと協働した。この大会をきっかけに、武庫川河川敷近くの団体とコラボしてタンデムサイクリングを楽しんでいただきたい。タンデムサイクリング車は公道を走ることができ、障害をもつていてもタンデム車でなら、身近なスポーツで行動範囲が広がる。かつ、障害の有無にかかわらず、タンデムサイクリングは、健康の維持促進に役立つと考えている。</p>						

【事業実施状況を示す写真等】



2-34 室町時代のご当地曲 能「西宮」を謡おう！

／能「西宮」を謡おう！実行委員会

活動地域	西宮市
協働団体	西宮能楽研究会
事業の 目的・趣旨	西宮を舞台として展開する能楽の演目「西宮」を広く市民に知らしめ地域への愛着と市民アイデンティティの向上を目指すこと、および日本の伝統芸能「能楽」を通じてグローバル社会に対応する人材育成と文化振興に寄与すること。
事業内容	<p>【1】能楽の謡ワークショップの開催</p> <p>能楽師による指導で能「西宮」の一節を謡う全9回の体験講座を実施。</p> <p>1/28 西宮神社 社務所和室 ○プレ講座・一般対象講座[午前・午後]</p> <p>2/5 廣田神社 参集殿大広間</p> <p>○プレ講座・一般対象講座[午前・午後] ○子ども対象講座[13時～]</p> <p>参加数一般19名、子ども9名(小学生の申込あり)</p> <p>参加費一般500円、ただし1/21の公演参加者は300円割引(プレ・子ども無料)</p> <p>謡の一節の練習を中心とし、指導にあたる能楽師の実演や曲解説などを含めたワークショップの開催を実施。謡が初めての方に向けた発声や基本姿勢などを練習するプレ講座を設け、参加希望を募った。子ども対象講座は、子ども世代が楽しめるよう紙芝居の他に楽器の体験も含めた内容とした。</p> <p>紙芝居を曲のストーリー解説として一般講座の中でも上演した。昨年度に子ども対象講座で上演したモノクロ簡易版の紙芝居を見直し、同年度作成したストーリー絵本のイラストを紙芝居用にリサイズ、文章も読み上げ用に再編集した。</p> <p>【2】公演／能「西宮」を聴こう～阪神間ゆかりの能の曲</p> <p>能「西宮」の謡と囃子による特別上演、ストーリー語り、阪神間にゆかりの能の曲を様々な演能形式で上演する公演を実施。</p> <p>1/21 西宮市フレンテホール 参加費2,000円 参加数37名(親子の申込あり)</p> <p>能「西宮」は、R2、R3の謡のみの上演から、過去の資料などをもとに内容を充実させ、囃子を加えた形式とし、音楽的にも「西宮」を楽しめる要素を高めた。</p> <p>○上演曲(能楽の演目名/ゆかりの地域/演能の形式)</p> <p>敦盛/神戸/独吟、松風/神戸/独鼓、鶴/芦屋/仕舞、西宮/西宮/番囃子、高砂/高砂・西宮・大阪/舞囃子</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	4	6	30	廣田神社	実行委員ミーティング	3	
		7	15	阪神西宮	〃	4	
		8	5	阪神西宮	今年度使用イラスト打合せ	1	
		8	19	神戸市内	実行委員ミーティング	3	
		8	27	フレテホール	公演会場申込、相談	2	
		10	2	大阪市内	実行委員ミーティング	4	
		10	13	廣田神社	ワークショップ 会場依頼と打合せ	2	
		10	16	阪神西宮	実行委員ミーティング	4	
		10	29	西宮市内	過去資料検討ミーティング	3	
		12	10	〃	広報開始	5	
		12	26	貞光能舞台	公演リハ、資料ミーティング	4	
		12	28	フレテホール	ホールとの打合せ	4	
		1	14	廣田神社	ワークショップ 会場打合せ	3	
		1	20	吉井稽古舞台	公演リハ	4	
		1	21	フレテホール	公演実施	11	37
		1	28	西宮神社	ワークショップ 実施	4	7
	2	5	廣田神社	ワークショップ 実施	4	21	
目標の達成状況	<p>参加者アンケートでの高評価や、個別に感謝や今後の期待への声をかけてもらうなど参加者の満足度の高さを感じられた。参加できなかった人からも、次の機会はずいぶん参加したいという声が複数寄せられた。これらより、当初目標に準じた活動を実施でき、また今後の活動への意義が感じられる結果となった。</p>						
事業効果	<p>能の演目「西宮」をテーマとした事業の一連で、実際に能の謡や楽器に触れて、普段あまり伝統芸能に接する機会がない人にも興味・関心を高めることができた。また、曲のストーリーを知ることによって歴史的背景など、地域についての知識や理解を深められ、地域への関心や誇りが向上する一助となった。</p> <p>「西宮」は通常の上演曲でないため、確立した譜はなく、今回上演のために西宮在住や縁のある能楽囃子方の協力を得られた。外部の能楽関係者の今後の活動に向けた調査研究に進展が見られ、地縁を意識した実演者や関係間の関係性や意識向上を図ることができた。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>現在は上演されていない演目の能「西宮」の復活上演を目指し、能楽上演に向けての調査研究を行う機会を創出する。今後も地域の文化的な宝物として地域ゆかりの多くの人々が能「西宮」を知っている・口ずさめることを目指して、気軽に曲に触れられる企画、具体的には下記の実施を検討し、普及を進めていきたい。</p> <p>謡・仕舞・和楽器ワークショップ等の開催、インターネットの利用を含め紙芝居や絵本等の朗読や読み聞かせでの物語としての普及、研究者や能楽実演者による伝統芸能と地域の歴史研究をクロスさせた勉強会の開催など。</p>						

【事業実施状況を示す写真等】

能「西宮」を聴こう!
阪神間ゆかりの
能の曲

お能の演目より阪神間ゆかりの曲をピックアップし、
曲の発どころ聞きどころの部分を選々な演舞形式で上演します。
中でも能「西宮」は、現在能舞台で演じられていない演目のための
特別な上演となります。謡と能楽囃子でお楽しみいただけます。

2023
1/21[土]
13時30分開演(開場13時)
西宮市フレンテホール
入場料 2,000円 全席自由席

ワークショップ 能「西宮」を演じる
特別あり、演舞日などは要領を参照ください。

主催/能「西宮」を聴こう!実行委員会 協賛/西宮市
協力/演舞神社、西宮神社、社協会、松月会、西宮能楽研究會



2-35 臨海部のまちなみを探る

～消えゆく今津浜の景観とまちなみ×防災～／西宮まちなみ発見倶楽部

活動地域	西宮市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>・現状のまちなみ景観がどのような背景で成り立っているか、歴史や地勢、インフラ、防災、行政の施策など多角的な観点から県民に理解を仰ぐことを目的に、座学、展示、まちあるきを行った。</p> <p>・特に、「まちなみ×防災」をテーマに、臨海部の現状と今後を知る・伝えるとともに、防災(関連施設)とまちなみ景観の関係性について、産官学民が考えるきっかけを作ることを目的とした。</p>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●今津セミナー&まちあるき <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時：7月18日(月・海の日) 9:00～12:10 ・参加者数：50名(一般34名、スタッフ16名) ・参加費：1,000円(お土産付：倶楽部オリジナルラベルのワンカップ大関) ＜セミナー＞ <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：大関工場本社4階ホール ・テーマ：セミナー「今津灯台の歴史」 ・講師：伊藤大輔氏／大関株式会社 総務人事部 CSRグループ 課長代理 ＜まちあるき＞ <ul style="list-style-type: none"> ・コース：①大関酒蔵→②大観楼跡→③今津灯台・今津浜→④コート甲子園南→⑤きんでん学園→⑥今津浜恵比寿神社→⑦すぎの木→⑧大関恒和蔵・酒蔵通り→⑨今津六角堂→大関本社 ・ガイド：西宮まちなみ発見倶楽部のメンバー、伊藤氏(今津灯台) ●まちなみで知る西宮の魅力2023・パネル展 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時：令和5年2月18日(土) 10:00～20:00、19日(日) 10:00～18:00 ・来場者数：のべ約600名、スタッフのべ50人 ・参加費：無料 ・展示：A0サイズ18枚の印刷物を展示 <ul style="list-style-type: none"> ・舌楽園のむかしと今 4枚 ・消えゆく今津浜の景観 4枚 ・生瀬 4枚 ・まちなみさんぽ(甲陽園、鳴尾、夙川、西宮北口) 2枚 ・景観啓発(校歌にみるまちなみ) 2枚 ・景観啓発(西宮の防災を知る、「西宮市都市景観形成計画」関連) 2枚 ・動画上映：JR西宮駅コンコースに掲示中の景観写真、消えゆく今津浜の景観、生瀬再発見ハイキング～水路と、宿場町をたずねて～、西宮まちなみ発見倶楽部紹介 ・MAP販売：西宮まちなみ発見MAP10～13の販売

●景観セミナー「まちなみと防災・市民の関わり」

・開催日時：2月23日（木・祝日）14:00～16:30

・開催場所：西宮市大学交流センター 大講義室

・参加者数：56名（一般・サポート会員の参加43名、スタッフ13名）

・参加費：1,000円

・内容

①講演「公共空間の景観」藤本英子さん／京都市立大学デザイン科教授

②話題提供

・「ハザードマップから地域防災を考える」中尾篤也さん／西宮市危機管理室地域
防災支援課課長

・「西宮市の景観と行政の取組」竹嶋直樹さん／西宮市政策局都市計画部都市デザ
イン課課長

③まちなみトークセッション「西宮のまちなみと市民参加」

・コーディネーター：藤本英子さん

・登壇：竹嶋直樹さん、中尾篤也さん、松本清一郎さん（西宮まちなみ発見倶楽部）

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
実施 経過	令和4	6	5	大関～今津浜コース～大関 尼崎市(尼ロック)	今津:現地調査(コース確認)	5	
			19	若竹公民館 第1集会室	臨海部防災:尼ロック見学	1	
			26	大関～今津浜コース～大関	2022年度第3回定例会	12	
			27	西宮浜	今津:現地調査・チラシ仕分け 調査	5 1	
	7	10	大関本社～今津浜コース	今津:まちあるきリハーサル	11	34	
		17	今津公民館 第2集会室	2022年度第4回定例会	12		
		18	松ナ:大関(株)本社4階大講義室 まちあるき:大関本社～今津灯台・ 今津浜～大関本社	今津セミナー & まちあるき	16		
	9	25	25	尼崎港管理事務所	臨海部防災:打合せ	2	
			25	中央公民館 402集会室	2022年度第5回定例会	14	
	10	14	14	第二庁舎4階危機管理室	景観セミナー:市との打合せ	3	
			15	新西宮ヨットハーバー	臨海部防災:関西ボートショー	3	
			23	今津公民館 第2集会室	2022年度第6回定例会	12	
			29	西宮浜(西宮浜観光社主催)	臨海部防災:西宮浜イベント見学	1	
	11	6	6	鳴尾浜・甲子園浜・西宮浜	臨海部防災:調査下見	3	
			14	地域防災支援課	景観セミナー:市との打合せ	3	
			20	西宮浜(西宮浜観光社主催)	臨海部防災:西宮浜イベント見学	1	
			27	若竹公民館 第1集会室 若竹公民館 第1集会室	臨海部防災:打合せ 2022年度第7回定例会	5 11	
	12	2	2	第二庁舎(危機管理センター)	防災:見学会	11	
			17	中央公民館 403集会室	2022年度第8回定例会	13	
	令和5	1	10	西宮市第二庁舎(危機管理センター)	見学会	11	
			15	今津公民館 第2集会室	2022年度第9回定例会	15	
				今津公民館 第2集会室	臨海部防災:打合せ	7	
			18	アクタ西宮振興会	パネル展打合せ	1	
25			地域防災支援課	景観セミナー:ゲストとの打合せ	3		
29			西宮浜公民館 第1集会室・西宮浜	臨海部防災:ヒアリングと視察	6		
2		4	若竹公民館 第1集会室	2022年度第10回定例会	14		
8	18	8	武庫川団地、他	臨海部防災:調査	1		
		18	アクタ西宮 東館2階	パネル展2023	50	600	
		19	中央ひろば				
		23	大学交流センター 大講義室	景観セミナー	13	43	

目標の
達成状況

1. 臨海部の現状と今後を知る・伝える

①臨海部のまちなみ調査

- ・臨海部チームを結成し活動した。参加者は倶楽部会員のべ約 40 名。
- ・当初、臨海部のまちなみについて海上から視察する予定だったが、予約していた釣り船会社から断られたため（知床半島の事故があり釣り以外のお客の受け入れをしない）、海上からの視察は諦め、陸上からの視察、調査、情報収集を行った。
- ・西宮浜の活動グループへのヒアリングも実施し、今後の連携の可能性を確認できた。
- ・来年度末までに、「西宮まちなみ発見 MAP(14)臨海部（仮）」を発行する予定。

②「今津セミナー&まちあるき」の実施

- ・江戸時代、樽廻船（酒桶みの船）のために私費で建設された今津灯台だが、新川水門・統合排水機場や名神湾岸連絡道路の建設に伴い近々移築することが決まり、今津浜の景観が大きく変わろうとしていることから、今津灯台所有者の大関株式会社の方によるセミナーとまちあるきを実施した。
- ・コロナ感染対策のため定員を 30 名に絞ったが、受付開始後すぐに申込が殺到し、40 名近くを受け付けた。最終的に当日のドタキャンもあり、34 名が参加した。倶楽部の活動への参加が初めてという人が約半数だった。
- ・アンケートによると、全員が「よかった」と回答した。セミナーで歴史を学び、まちあるきで日常気づかないことの発見につながったとする人が多く見られた。

2. 「まちなみ×防災」の取り組み

①防災勉強会

- ・「まちなみ×防災」を考えるにあたり、倶楽部メンバーの防災基礎知識を得るために、令和 3 年春に完成した西宮市危機管理センター（第二庁舎）の見学会を実施した。
- ・危機管理センター建設にあたり景観などへの配慮の結果、免震施設が 2 階に設けられていることなど、「まちなみ×防災」に関係する事項を知ることができた。

②景観セミナー

- ・「まちなみと防災・市民の関わり」をテーマに実施した。
- ・景観の専門家である藤本英子先生の講演、西宮市の景観行政担当部署の都市デザイン課課長と地域防災力向上に注力する地域防災支援課課長からの話題提供を通して、非日常の防災インフラと日常のまちなみの共存について考えることができた。

3. 情報発信

①パネル展（アクト西宮）

- ・当倶楽部の活動を広く知ってもらう場としては今回も有効だったと考える。パネルの相度の高さも一定の評価を得ており、ここ数年は図書館のブックフェアへの貸出も続いている。パネル展当日に、後日実施の公民館講座への貸出依頼もあった。
- ・コロナ禍で来場者への声かけが控えめだったため、アンケート回収数が少なかった。スマホでの回答も準備していたが、高齢者は用紙での回答となった。

②Facebook など SNS

- ・SNS での情報発信は、必ずしも届けたい人に届いているとは言えない。
- ・そこで、昨年度からの継続的試みとして、テーマを決めた内容の定期発信「校歌に見るまちなみ」を Facebook で行った。パネル展で現時点で取り上げている学校紹介ページに飛ぶ QR コードを展示したところ、新聞社も注目し記事掲載していたおかげでパネル展来場者も増加し、景観に関心を持つ市民が広がった。
- ・今年度初の試みはライン公式アカウントの登録である。登録者は 40 名ほどでまだまだ少ないが、SNS のみで参加者募集を行った「まちなみさんぽ」では、LINE 登録者からの反応が良く、倶楽部に関心を持つファン層の取り込みができたと言える。

<p>事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●企業の協力 <ul style="list-style-type: none"> ・「今津セミナー&まちあるき」では、今津灯台の所有者である大関(株)の協力を得て実施できたことは、参加者の関心を得る上で効果的だった。 ・防災目的の巨大インフラ（水門）の建造により、江戸時代から同じ場所に鎮座し海の安全を守ってきた木造灯台が移転し風景が変わることへの関心は高かった。 ●まちなみを見る新しい切り口「防災」 <ul style="list-style-type: none"> ・「まちなみ×防災」をテーマとする景観セミナーでは、新しい切り口による新たな見方ができたと思われる。 ・これまでの直接接点のなかった防災関係部署との情報共有が図られたことも大きい。行政内連携のきっかけも作れたと思われる。 ・非日常的な防災施設が日常景観の中でどう見られるのかについて、セミナーでは必ずしも議論し尽くせたわけではないが、「美しいまちは、防災力も高い」という仮説を持つことができた。 ●テーマの設定で関心の広がり <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展で朝日新聞社の取材があり、2日目、阪神版に掲載された記事を読んで来場してくれた方もあった。 ・昨年度から「校歌に見るまちなみ」をテーマに Facebook で定期発信をしてきた。パネル展では大きな反響があった。ふるさとの風景を、校歌から想像するという試みは、景観啓発に有効であることがわかった。 ●パネル展が名刺交換の場に-連携の可能性 <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展には、これまで MAP 作成やまちあるきで協力いただいた団体や個人の方々も来場し、それぞれの活動における相乗効果が見られることがわかった。 ・初めて来場した方の中には地域で活動する方もおられ、連携企画について話をすることができ、今後の展開に広がりを感じられるものとなった。 ・ここ数年図書館のブックフェアにパネル展で展示している印刷物の貸出を行ってきたが、公民館講座への貸出依頼もあり、展示に活用してもらった。この講座には倶楽部メンバーも参加し、新年度初めにまちあるきを連携開催することになった。 ●自主財源の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・「今津セミナー&まちあるき」参加費をこれまでの 500 円からお土産付き 1,000 円にしたが、定員を上回る申込があった。 ・景観セミナーでも参加費を上げたが、内容が伴えば倍にしても参加者を募れることがわかった。
<p>補助金交付終了後の事業展開、今後の展望</p>	<p>(次年度以降どのように事業を展開（継続）していくのかご記入ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まちなみ×防災」に関する調査研究活動を引き続き行う。今後は、臨海部の防災インフラ整備主体である兵庫県との連携を図れるよう働きかける。(今年度は担当者から講師要請をしたものの残念ながら断られた。) ・西宮まちなみ発見 MAP@臨海部を発行し、「まちなみ×防災」の観点からまちなみを紹介するとともに、まちあるきを実施する。 ・蓄積してきた情報を加工した冊子の発行や、MAP 改訂版の発行などにより、自主財源確保に務める。 ・課題は、景観テーマでの参加者の多くが高齢者であること。若い世代を取り込む事業も行っていないと啓発活動の未来はない。若い世代のいる団体との連携事業や、視点を変えたイベントも行ない、多角的に関心を持つ市民を増やしたい。

【事業実施状況を示す写真等】

西宮市と今津の復興事業
「景観セミナー」を開催

今津のゆく 景観

7月18日(日・祝祭日)
9:00~12:30 (定員90名程度)

【セミナー】「今津のゆくとまちの景観」
→11時からの見学も予定

講師：伊藤大輔氏/大塚洋子氏/大塚洋子氏/大塚洋子氏
会場：西宮市立今津公民館
参加費：1,000円(税込・送料別) ※お申し込み時にお振込みください
お申し込み：小津町公民館(079-45-3422) 079-45-3422
お申し込み：伊藤大輔氏(079-45-3422) 079-45-3422
お申し込み：大塚洋子氏(079-45-3422) 079-45-3422
お申し込み：大塚洋子氏(079-45-3422) 079-45-3422
お申し込み：大塚洋子氏(079-45-3422) 079-45-3422

パネル展
10.00.20.00
アタゴ高層ビル2F
中津じま

景観セミナー
14.00.16.30.11 10時開始
西宮市立今津公民館1F
西宮市立今津公民館1F
西宮市立今津公民館1F
西宮市立今津公民館1F

■当日の様子

1. 大塚石蔵	2. 大塚洋子	3. 今津灯台・今津浜
西陣に囲まれた庭園を再現	好学の地物の拠点となった洋館洋館	矢張りゆく景観を心に刻む
4. コート甲子園	5. きんでん学園	6. 今津浜神社再建社
港門の入り地を再現	デンチュウでござる(今津編)	えべっさん上屋の石社
7. すずの木	8. 大塚洋子蔵・西宮通り	9. 今津六所堂
MAPに地蔵の祠を紹介	西宮市立今津公民館の復興計画を紹介	モダン洋風の洋舎
まちあるきの様子		

2-36 ひきこもり高齢者の社会参加を促す 住民多世代交流活性化事業／なないろの会

活動地域	西宮市
協働団体	
事業の目的・趣旨	団地住民は高齢者の割合が高く、外出する回数が減少している。コロナ禍での楽しみ・集いの場として、交流することを目的にする。
事業内容	<p>10月30日</p> <p>なないろ秋まつりと昭和の遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑端市 手作り作品や雑貨類をブース別に販売、ブース店主が自由に販売。 ・昭和の遊び 昭和のおもちゃを用意し、こども達と交流。 大人も懐かしく思いながら遊んでいた。 <p>1月29日</p> <p>初笑演芸会</p> <p>4組の演者によるパフォーマンスが披露され、観客が大きな拍手を送った。 次回も楽しみにしている旨の感想が多く寄せられた。</p>

実施経過	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
	A4	6	9	七団集合所	運営会議	11	
	"	6	16	"	オ2回運営会議	11	
	"	7	14	マゼト	オ3回運営会議	7	
	"	7	28	マゼト	オ4回運営会議	8	
	"	8	18	マゼト	オ5回 市庁舎七団集合所	6	
		9	8	七団集合所	オ6回 運営会議	10	
		9	22	マゼト	オ8回 運営会議	10	
		10	29	七団集合所	雑端市準備	13	
		10	30	"	雑端市・明和地区準備	14	76
		11	3 ₁₃	マゼト・七団集合所	1ヶ月経たずにオ9回 運営会議	11	
		12	1 ₁₀	マゼト・七団集合所	オ9回 運営会議・オ10回 運営会議	11	
	A5	1	28	七団集合所	演芸会準備	10	
		1	29	七団集合所	演芸会開催	10	37

目標の 達成状況	10月30日雑端市 一般76人、スタッフ14人 計90人 1月29日演芸会 一般37人、スタッフ10人、演者14人 計61人 双方、当初予定よりも多くの参加者が集った。
事業効果	近隣住民にチラシ配布・参加呼びかけを行ったことで、予想を上回る集客となった。 ひきこもっている独居の方も覗いていかれるような良い効果があった。 前回のフェスティバルや新春寄席での口コミが拡がり、大勢の方にお越しただけ、 喜ばしい。 若い人、特に子どもの参加は少ない結果となった。
補助金交付 終了後の事業 展開、今 後の展望	気軽に参加できる集会場での開催が皆様に喜んでいただけるので、今後も続けていき たいと考えている。

【事業実施状況を示す写真等】

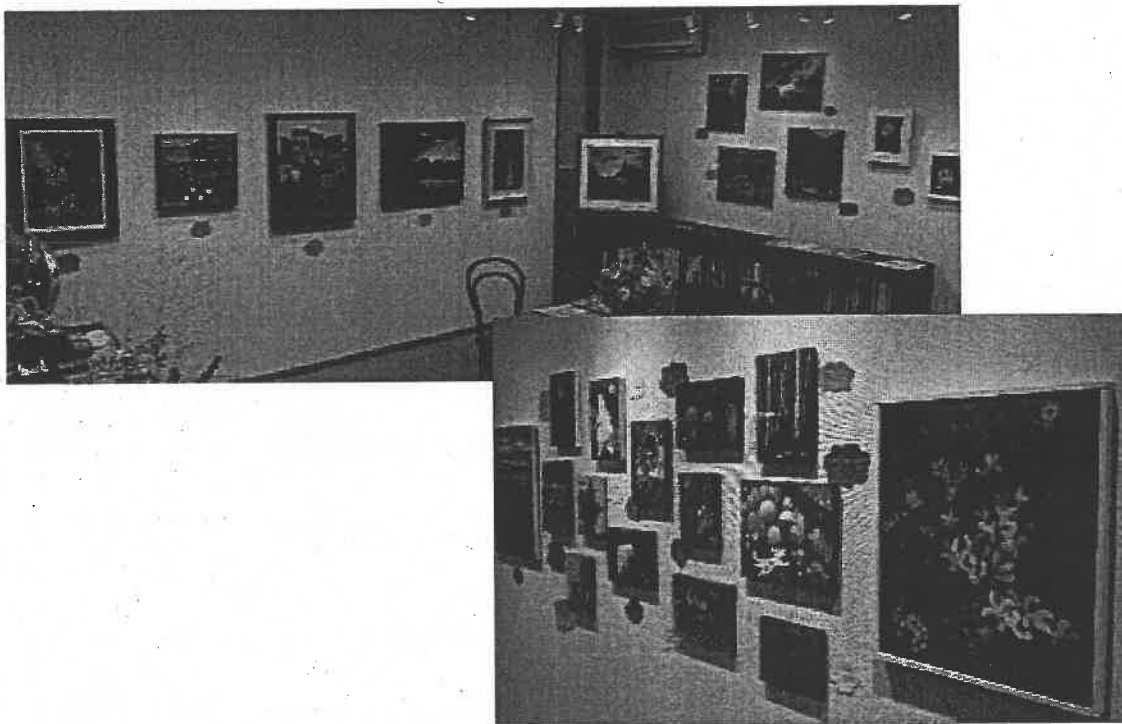


2-37 西宮ぎゃらりーさんぽ2022 / 西宮ギャラリー連絡会

活動地域	西宮市
協働団体	
事業の目的・趣旨	<p>西宮ギャラリー連絡会は、アートを通して街の魅力を高めて発信するために組織している。</p> <p>「西宮ぎゃらりーさんぽ」は、西宮市大谷記念美術館と連携して、ギャラリーの展覧会をスタンプラリーで巡ることで「街のギャラリー」の存在を知ってもらい、多くの人にアートを身近に感じてもらうきっかけになることを目的としている。</p>
事業内容	<p>西宮ぎゃらりーさんぽ 2022</p> <p>西宮市大谷記念美術館の「2022イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」(8/13～9/25)の会期と合わせて 西宮市内のギャラリーで、今年または過去の入選作家など絵本に関わる展覧会や、地元作家の個展など27の展覧会を開催し、それらをスタンプラリーで巡っていただくイベントとして8/26～10/2の期間実施した。</p> <p>展覧会数は、西宮ギャラリー連絡会主催の展覧会が16、他団体主催の展覧会が11で合計27展、会場はNGLの7軒のギャラリーと西宮市立北口ギャラリー、西宮市立市民ギャラリーの計9カ所で行った。</p> <p>パンフレットを作成し、表面に大谷美術館の展覧会と27展覧会のタイトルと会期と開催場所を記載、裏面はマップにしてアクセスや交通機関、協力店舗などをできるだけわかりやすく掲載するよう心がけた。</p> <p>また、このパンフレットはスタンプラリーの台紙にもなっていて、展覧会を5カ所まわってスタンプを集めると、景品をプレゼントすることにした。</p> <p>ギャラリーは、阪神香櫨園周辺・阪神甲子園周辺・JR甲子園口周辺・阪急西宮北口周辺・JR西宮名塩駅周辺と点在しているが、「ぎゃらりーさんぽ」期間の初めから終わりまで、展覧会を集中して開催することにより、一日でいくつかの展覧会をまわれるように配慮し、展覧会の内容も充実させた。このイベントの魅力のひとつである展覧会で作家に出会い話が出来ることが多くあった。また、スタンプラリーをリピートして回る方が多かったのも今年の特徴である。</p> <p>アンケート結果からも総数228のうち、たいへんよかった143、よかった63の回答に好評だったことがうかがわれる。</p> <p>会場の総入場者数は、6859人。 景品は300用意して、288渡した。</p>

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2022	6	1	事務局	事業の準備会議	8	
				各ギャラリー &事務局	展覧会企画 参加団体確認 パンフレット作成		
				事務局	パンフレット発送作業		
				各ギャラリー	「ぎやらりーさんぽ」開始		
				各ギャラリー	「ぎやらりーさんぽ」終了		
		7	27	事務局	パンフレット発送作業	8	
		8	26	各ギャラリー	「ぎやらりーさんぽ」開始	8	6859
		10	2	各ギャラリー	「ぎやらりーさんぽ」終了	8	
		10	19	事務局	事業の総括会議	8	
目標の 達成状況	<p>実施展覧会数 27展 来場者数 6859人 昨年の3998人を大幅に上回り、イベントが少しずつ知られてきてギャラリーを訪れてアートを楽しんでくれる人が増えてきたことを感じる。</p>						
事業効果	<p>昨年からの西宮日本画協会展、今年からの西宮美術協会展等、他団体にも参加していただいたことが来場者数の大幅な増加につながっている。 他団体からも特に問題はなく、入場者が増えたことで好評をいただいている。 スタンプラリーに協力してくださった市民ギャラリー 北口ギャラリーの指定管理業者双葉化学商会からも公共のギャラリーを訪れる人が増えたことで喜んでもらっている。 また、宣伝に協力してくれる店舗も増えてきて広がりを感じる</p>						
補助金交付 終了後の事業展開、 今後の展望	<p>(次年度以降どのように事業を展開(継続)していくのかご記入ください。)</p> <p>今後もアートに親しんでもらえるように「ぎやらりーさんぽ」企画は続けていきたいと考えている。</p> <p>各ギャラリーでの展覧会を充実させることと無理のない範囲で他団体と協力していきたい。</p> <p>また資金面では 協賛費の増額やスポンサーの獲得など、補助金に頼らない事業運営ができるように努めていきたい。</p>						

事業実施状況を示す写真等



2022
8.26 fri - 10.2 sun

西宮ぎゃらりーさんぽ

2022

イタリア・ポロニア国際美術展入賞作家の作品
日本に紹介される展覧会イベントが盛りだくさん。
その面白さをおいしく感じていただきたいと思います。

主催：西宮アート協会 実行：西宮市文化芸術振興課
協賛：西宮市文化芸術振興課、西宮市美術館、西宮市立北口ギャラリー、西宮市立市民ギャラリー、西宮市立マコト美術館

ポロニア国際美術展入賞作家展

A 西宮市大谷記念美術館

▶2022 イタリア・ポロニア国際美術展
開催期間：2019/2021 ポロニア 5th 出品展
サブ・マリア・マリア・マリア・マリア

8/13(土)～9/25(日) 水曜休館
10:00～17:00 入館 16:30まで
※9/17(土) 9/18(日) 9/20(火) 9/21(水) 9/22(木) 10:00まで延長開館
入館 16:30まで

展覧会のスタッフ、あと5冊でステキなプレゼント!

1 2 3 4 5

1 ギャラリー・ろうろう

〒216-0001 西宮市大谷 4-2-27 3F
TEL: 079-461-1100

▶とどまや・三時館文芸工房
〜イギリス生まれのモアとボタ〜
9/6(火)～9/13(日)
11:00～16:00 最終日 17:00まで

▶西陣美術 日本画「鳥のゆかり」
9/20(火)～9/25(日)
11:00～16:00 最終日 17:00まで
※2021年入賞

▶西陣美術 日本画「鳥のゆかり」
9/27(火)～10/2(日)
11:00～16:00 最終日 17:00まで

2 ギャラリー・アライ

〒216-0001 西宮市大谷 4-2-27 3F
TEL: 079-461-1100

▶日本画展 水画展
9/7(水)～9/6(火)
11:00～16:00 最終日 17:00まで
※2021年入賞

▶「6だんごころころ」絵本展展覧会+HANOJO 作品展
9/8(水)～9/13(火)
11:00～16:00 最終日 17:00まで
※2019年入賞

▶いむさぎ堂展覧会「たぐいす光景中」
9/15(水)～9/20(火)
11:00～16:00 最終日 17:00まで
※2021年入賞

▶Thuan Viaggio 『ズビゾフ』〜異国旅〜
ポロニアで展覧された作家の展覧会
9/22(水)～9/27(火)
11:00～16:00 最終日 17:00まで
山田明子 池田ゆかり 池田文彦
倉島真 大塚成子 主催：アートアライ

3 ギャラリー・こもれび

〒216-0001 西宮市大谷 4-2-27 3F
TEL: 079-461-1100

▶絵画展 加藤真二展 一月月の散歩
8/31(水)～9/5(日)
11:00～16:00 最終日 16:00まで
※2021年入賞

▶おむすび子展覧会「おむすび」
9/14(水)～9/19(月・祝)
11:00～16:00 最終日 16:00まで
※2021年入賞

▶おむすび子展覧会「おむすび」
9/21(水)～9/26(月)
11:00～16:00 最終日 16:00まで
※2021年入賞

4 ギャラリー・甲斐園南

〒216-0001 西宮市大谷 4-2-27 3F
TEL: 079-461-1100

▶第11回 日本イラスト展
9/2(金)～9/7(水)
10:00～16:00 最終日 16:00まで
4/24(日) 日曜定休 休館日 休館日

▶安岡清太郎展
9/30(金)～10/5(水) 12:00～17:00 最終日 16:00まで

5 ArtSpace 草野

〒216-0001 西宮市大谷 4-2-27 3F
TEL: 079-461-1100

▶トケレ/スは、おもしろい「青年立作品展」
特別出品 上野博子
8/30(火)～9/4(日)
11:00～16:00 最終日 17:00まで
〒216-0001 西宮市大谷 4-2-27 3F
TEL: 079-461-1100

▶おだか だて代「毎日イデアマイアあるある」
〜ゆるゆるな日常を日々〜
9/9(金)～9/14(水)
11:00～16:00
〒216-0001 西宮市大谷 4-2-27 3F
TEL: 079-461-1100

▶2022ポロニア国際美術展入賞作家展
「北村真由子展〜スワンクワのせて〜」
9/19(月)～9/24(土)
11:00～16:00 最終日 17:00まで
〒216-0001 西宮市大谷 4-2-27 3F
TEL: 079-461-1100

6 ギャラリー・むげすけ

〒216-0001 西宮市大谷 4-2-27 3F
TEL: 079-461-1100

▶姫路市会館からの二人展
おむすびの展覧会/フカシタマゴ
山崎の展覧会/フカシタマゴ
8/26(金)～9/3(土)
11:00～16:00 最終日 17:00まで

▶つよしゆうこ 絵本展
9/6(水)～9/13(日)
11:00～16:00 最終日 17:00まで

▶YOGO 3人展
「おむすび、おむすび」
9/15(水)～9/20(火)
11:00～16:00 最終日 17:00まで

▶「おむすび」の展覧会
「おむすび」の展覧会
9/23(金)～10/2(日)
11:00～17:00

7 日中藝術ギャラリー

〒216-0001 西宮市大谷 4-2-27 3F
TEL: 079-461-1100

▶日中藝術展
9/7(水)～9/11(日)
13:00～16:00 最終日 15:30まで
主催：日中芸術家協会

B 西宮市立北口ギャラリー

〒216-0001 西宮市大谷 4-2-27 3F
TEL: 079-461-1100

▶第12回 アトリエ西宮美術展 作品展
9/5(火)～9/11(日)
10:00～16:00 最終日 17:00まで
主催：アートアライ

▶第40回 アトリエ草野美術展
9/20(火)～9/25(日)
10:00～17:00 最終日 16:00まで
主催：草野美術会

▶西宮日本書道会 秋の新作展
9/22(火)～10/2(日)
10:00～12:00 最終日 16:00まで
主催：西宮日本書道会

※イベントは事前申し込みが必要となります。

C 西宮市立市民ギャラリー

〒216-0001 西宮市大谷 4-2-27 3F
TEL: 079-461-1100

▶第30回 マコト美術館作品展
8/26(金)～8/28(日)
10:00～17:30 最終日 16:00まで
主催：マコト美術館

▶好きになどとと〜
9/6(火)～9/11(日)
10:00～16:00 最終日 16:00まで
主催：アートポイントプロジェクト

▶西宮アートの町<公募作品展>
9/13(火)～9/18(日)
10:00～17:00 最終日 16:00まで
主催：西宮アート協会

▶第65回 西宮美術協会展
9/20(火)～10/2(日) 10:00～17:00
10:00～17:00 最終日 16:00まで
主催：西宮美術協会

※イベントは事前申し込みが必要となります。

ギャラリー・凹凸

〒216-0001 西宮市大谷 4-2-27 3F
TEL: 079-461-1100

▶おむすびの展覧会
9/23(金)～10/2(日)
11:00～17:00

2-38 段西っ子まつり / 段上西県民交流広場運営委員会

活動地域	西宮市																								
協働団体	段西まつり実行委員会																								
事業の目的・趣旨	<ol style="list-style-type: none"> 1. コロナ禍により「段西夏まつり」を2年間中断していたが、コロナ禍状況を見ながら地域活性化を図る。 2. 高齢化が進んでいるなか、近隣の中高生ボランティアの力を借り、地域のリーダー育成に貢献する。 3. 学区の児童・未就学児を中心に、家庭・地域の異世代交流ができる「まつり」にする。 																								
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 県民出店 2店舗 <ul style="list-style-type: none"> ◎スマートボール 台：4基(自前) ◎ソフトボウリング 2セット(購入) <ul style="list-style-type: none"> ・レーンシートと風除けレーンブロックを同時購入 (ブロック購入時、運搬で過積載回避のため2往復) 2. 広報 <ul style="list-style-type: none"> ◎チラシ(プログラム)：両面印刷 4,500部配布 (段西児童・13自治会・地域団体へ配布 当日受付予備ほか) ◎中高生ボランティア募集チラシ(中学校2校・高等学校4校) ◎段上西小学校近隣へお断りお手紙(約300件) 3. 参加者 <ul style="list-style-type: none"> ◎「段西っ子まつり参加票」を受付にて提出 (スタンプラリー用紙は希望者へ配布) ◎各店舗にて、ゲームや体験後スタンプラリー用紙に押印 (スタンプシャチハタは、10店舗へ配布) ◎参加者人数 <table border="0"> <tr> <td>参加者(参加票より)</td> <td>1,147名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>150名</td> <td>(段西PTA・SC21・青愛協・社協・県民)</td> </tr> <tr> <td>中高生ボランティア</td> <td>42名</td> <td>(報徳・県西・市西・甲武中・甲陵中)</td> </tr> <tr> <td>出演者</td> <td>22名</td> <td>(段西児童有志・県西邦楽部)</td> </tr> <tr> <td>来賓(見守り含む)</td> <td>5名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボーイスカウト21団</td> <td>21名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>西宮市消防団段上分団</td> <td>10名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(総合計：1,397名)</td> </tr> </table> 4. 参加賞 <ul style="list-style-type: none"> ◎参加賞を用意したい要望があり、華美にならない参加賞を各店舗にて用意 ◎県民店舗は、自治会や地域の方の手作り品等の寄付と、参加者1名1個の飴を参加賞として用意(参加賞飴は、県民本会計から購入 参加賞はなくなり次第終了) 	参加者(参加票より)	1,147名		スタッフ	150名	(段西PTA・SC21・青愛協・社協・県民)	中高生ボランティア	42名	(報徳・県西・市西・甲武中・甲陵中)	出演者	22名	(段西児童有志・県西邦楽部)	来賓(見守り含む)	5名		ボーイスカウト21団	21名		西宮市消防団段上分団	10名				(総合計：1,397名)
参加者(参加票より)	1,147名																								
スタッフ	150名	(段西PTA・SC21・青愛協・社協・県民)																							
中高生ボランティア	42名	(報徳・県西・市西・甲武中・甲陵中)																							
出演者	22名	(段西児童有志・県西邦楽部)																							
来賓(見守り含む)	5名																								
ボーイスカウト21団	21名																								
西宮市消防団段上分団	10名																								
		(総合計：1,397名)																							

					スタッフ	参加者
	4	11	19	段上西小学校 運動場	「段西っ子まつり」	
				7:00	開催実施判断（実行委員会）	5
				9:00	会場設営（テント・机・椅子） ※中学生ボランティア会場設 営担当集合	約 40
				10:00	各団体搬入（7 団体 10 店舗） 受付設営	約 100
				11:00	出演者リハーサル （2 グループ 小・高校生）	18
				12:45	中高生ボランティア店舗担当集 合	32
				13:00	「段西っ子まつり」開催 ※受付担当：青愛協・PTA ※演者もスタッフ数に含む	約 200
				15:00	終了	1,147
				16:00	全員で片付け作業開始 実行委員会解散	
目標の 達成状況	<p>◎開催時期を鑑み「段西夏まつり」を「段西っ子まつり」に名称を変更。</p> <p>◎多くの人に広報する工夫。 （段西児童・校区自治会・中高生ボランティアの募集・近隣向けチラシ）</p> <p>◎受付にて「段西っ子まつり参加票」の回収にて入場者数を把握。（スタンプラリー用紙は希望者へ配布）</p> <p>◎PTA が中心に、コロナウイルス感染症対策の徹底と、まつり開催中の注意事項の掲示。</p> <p>◎学生ボランティアは各店舗へ配置され、店舗ごとに指示を受け活動。また、参加者へ声援を送り会場を盛り上げる。</p> <p>◎参加賞を出したい要望があり、華美にならないよう各店舗と共通理解。</p> <p>◎県民店舗は、自治会や地域の方の手作り品等の寄付と、参加者 1 名 1 個の飴を参加賞として用意。（参加賞飴は、県民本会計から購入。参加賞はなくなり次第終了）</p>					
事業効果	<p>◎県民店舗のゲーム進行は学生ボランティアが担い、スタッフは裏方にまわり（最後尾呼びかけなど）学生ボランティアを見守った。（リーダー育成）</p> <p>◎イベントを和太鼓に絞り、段西児童有志と県西邦楽部それぞれが演技。和太鼓を通して段西児童有志と県西邦楽部員とのコミュニケーションが図れた。「段西っ子まつり」の参加者は声援を送っていた（中には普段の練習を聞いていた方も観覧されていた）。</p> <p>◎3年ぶりに、1,000名を超える大勢の参加者が集う行事を開催した。地域諸団体が力を合わせ成し遂げた行事も3年ぶりで、コロナ禍以前に参加がなかった地域団体も協力し地域活性化にも繋がった。（一同、参加者や演者の笑顔に接し、パワーをもらった）</p> <p>◎開催後日、各学校・地域から「問題ない日常」と報告があり安堵した。</p>					
補助金交付 終了後の 事業展開、 今後の展望	<p>（次年度以降どのように事業を展開（継続）していくのかご記入ください。）</p> <p>令和4年12月10日（土）13:30～ 県民交流ひろば会館にて、「段西っ子まつり」実行委員会開催</p> <p>◎「段西っ子まつり」開催後アンケート回収</p> <p>◎実行委員会全員一致で、次年度も開催希望</p> <p>◎令和5年5月27日（日）9:30～ 令和5年度 第一回実行委員会 開催決定 今後の展望について話し合いを行う</p>					

【事業実施状況を示す写真等】



テント準備

おちよこDEボトン sc21



受付
(音遊協)



来場者

わなげ sc21



ストラックアウト ボーイ



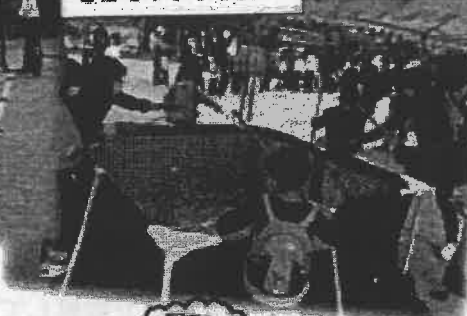
霞西っ子まつり

2022年11月19日(土)

さかなつり PTCA



シトル投げ sc21



ボウリング
スマートボウル
泉民

ターゲットポッチャ
社協



京西
邦楽部



スーパーボールすくい sc21

太鼓隊
育愛協



消防団

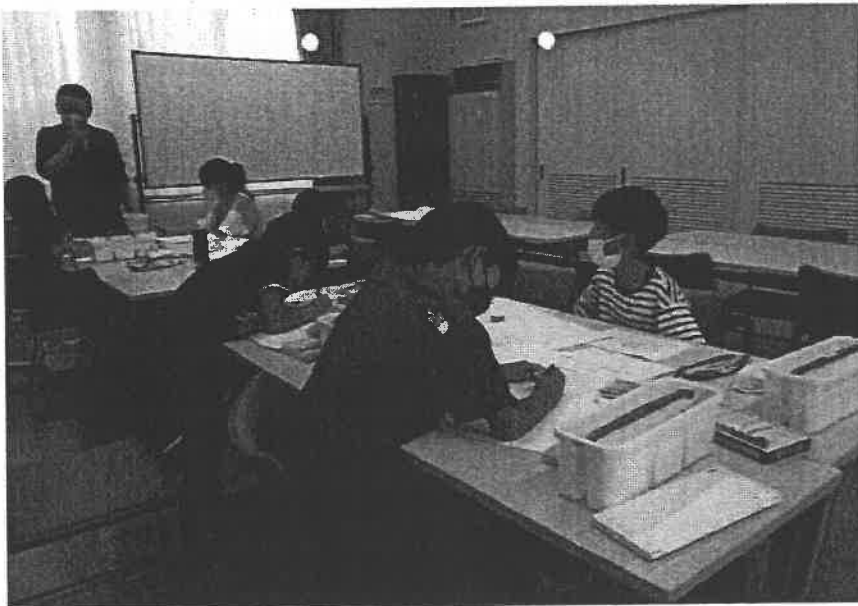


2-51 HAI's 講座 / 芦屋市朝日ヶ丘地区集会場運営協議会

活動地域	① (芦 屋) 市 ② 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	朝日ヶ丘町自治会 東山町自治会 岩園町自治会
事業の目的	地域活動の拠点である朝日ヶ丘地区集会所に地域の皆さまが、積極的にお越し くださり、より多くの方とご交流いただける場として事業を開催することを 旨とする
事業内容	① GENKI★体操体操(体操教室)全4回…6/4・7/2・8/6・9/3 ・引きこもりがちな高齢者を中心に躰き予防に特化した体操や脳トレを 組み入れた体操教室で楽しく、明るく、元気になっていただく ② 花くらぶ(花の植栽) ・集会所の花壇の植栽を中心にお手入れ方法の講座を開講 ③ 囲碁ひろば(囲碁教室) ・しばらく対局していなかった高齢者や全く初めての方、若年者が同様の 講義を受け、対局し交流を深めました ④ 手作りおもちゃ講座 ・手作りの楽しさと出来上がりの喜びの中、実際に親子さんを交え遊び有意 義な一時をお過ごしいただきました ⑤ 一日絵画教室 ・お子様の夏休みの宿題のお手伝いを兼ね、感性を磨く講座となりました ⑥ スマートフォン講座 全2回 ・スマートフォンがなくてはならない場面が多くなってきている昨今ですが、 使いこなすのには怖さと難しさがあり、学生さんを講師に迎え、マンツ マンで知りたいことを納得できるまで指導していただきながら、交流を 深めました ⑦ X`マスリース ワークショップ ・リース作りをしながら地域の交流を深めました ⑧ ネイル講座 ・お子様の強いご要望で開催いたしました ⑨ HAI's 笑いの玉手箱 和太鼓ショー ・和太鼓と笛などの鳴り物と獅子舞に加え、楽しいトークショーで大いに 笑って感動していただきました

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	4	6	4	朝日ヶ丘地区集会所	GENKI★体操①	2	9
	4	6	18	〃	花くらぶ	1	9
	4	6	21	〃	囲碁教室	2	13
	4	7	2	〃	GENKI★体操②	2	7
	4	7	16	〃	手作りおもちゃ作り教室	3	7
	4	8	3	〃	夏休み 子ども一日絵画教室	3	10
	4	8	6	〃	GENKI★体操③	2	7
	4	8	20	〃	花くらぶ おはなのはなし	1	12
	4	8	25	〃	スマホ講座①	8	14
	4	8	26	〃	スマホ講座②	6	18
	4	9	3	〃	GENKI★体操④	2	7
	4	9	4	〃	ネイル講座	2	8
	4	11	27	〃	X`マスリース ワークショップ	2	18
	5	2	18	〃	HAI`s 笑いの玉手箱(和太鼓)	8	12
目標の達成状況	<p>・ご利用者さまからの要望で開催した講座もあり、皆さまが主体的にご利用くださることが多くなってきたように観じます。</p> <p>集会所が少しずつ認知されてきた証で目標に近づいて参りました。</p>						
事業効果	<p>立地条件の悪い場所ではありますが、平素ご利用いただいている方が6割、初めての方や久しぶりにお運びくださった方が4割程度おられました。</p> <p>イベントにより、対象年齢が限定されるものもありますが、和太鼓はお子様からご高齢の方まで一堂に会し、お楽しみいただきました。地域的にはコロナの影響で集会所周辺の方が9割を占め、告知も抑えておりましたが、1割の方は翠ヶ丘・大原・潮見町などからもお運びいただき、周辺の方のみではなく広範囲の方に少しずつ認知していただけるようになったのではないかと思います</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>(次年度以降どのように事業を展開(継続)していくのかご記入ください。)</p> <p>コロナも収束に向け動いていますが、私どもも実際に継続している事業の参加者を増やし、より多くの方に集会所をご利用いただけるよう努めます</p>						

【事業実施状況を示す写真等】



2-52 子育てがしやすいまちづくり事業 / tumugu

活動地域	芦屋市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>少子化やコロナの影響により、子育て世帯の交流の場がますます減少している。この事業の目的は、①親も子も楽しめる体験イベントを開催し子育て世帯の交流のきっかけをつくること。②市民団体や地域で活動している人にイベントの出店をしてもらうことで、開催終了後も興味を持った活動に親子が引き続き参加し、各活動の活性化を図ること。</p>
事業内容	<p>ものづくりを中心とした参加型イベントの開催（11/13）予定だったが、雨天のため延期の方向で調整していた。延期予定のところ、感染症療養のため再延期ができず中止となった。</p> <p>12種の様々なコンテンツを集め、多くの人に参加してもらえるように企画した。フライヤーを作成し、市内の幼稚園・保育所・小学校の各家庭に配布した。また、開催日まではSNSで情報発信を行いイベントの周知をはかった。</p> <p>芦屋市内幼稚園・保育所27園、小学校、8校、施設等へ8000枚配布 SNSでのリーチ数2500</p> <p>内容は、モノづくりワークショップ6つ、健康づくりワークショップ2つ</p> <p>ふだん体験することができない火起こし&焼き芋で交流会ワークショップ、卵の殻に好きな絵を描けるランプシェードづくりワークショップ、自由に描いた絵をTシャツなどにシルクプリントするワークショップ、草でつくるミニバッグ・キーホルダーづくりワークショップ、無垢材を使ってつくるスプーンづくりワークショップ、落ち葉スタンプでつくる手拭いづくりワークショップ。親子ストレッチ体験、キッズダンスワークショップ。</p> <p>見て楽しんで、やってさらに楽しい参加型のステージパフォーマンス3つ</p> <p>12:30-13:20 こま・ベーゴマ・けん玉などを使っての昔あそびのパフォーマンスと体験 13:30-14:30、フットバックダンスパフォーマンスと体験、14:45-14:55 キッズダンスワークショップ。</p>

保護者が気軽に手ぶらでイベントに来れるように食の憩いの場3つ

食を通して活動する週末デザイナー兼週末焙煎珈琲屋さん、大山こむぎに拘って作る歯科衛生士兼ベーグル屋さん、スパイス輸入会社のサラリーマン兼スパイスカレー屋さん。

11/13のイベントが雨天のため中止となったため、キッズダンスのステージパフォーマンスを講師と当団体それぞれのSNSで発信した。また、ワークショップの講師の交流の場を設け、新たな繋がりをつくれた。(11/13, 12/20開催)

延期となったイベントを開催するために、芦屋を中心としたフリーペーパーを作っている「あしやらへん」と協働を予定していた。協働内容としては、「あしやらへん」のフリーペーパーにイベント情報を掲載してもらい、SNS等での情報発信。

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
実施経過	'22	6	14	カフェ	定例会議	3	
		8	9	〃	フライヤーデザイナーとの打合せ	3	
		9	3	〃	ws 講師との打合せ	3	
							4
			21	〃	ws 講師との打合せ	2	
			22	総合公園	下見&打合せ	2	
			23	オンライン	フライヤー打合せ	3	
			3	福祉センター	講師との意見交換	3	
		10	20	市役所	フライヤー配布、打合せ	3	
			30	総合公園	ws リハーサル	3	
		11	13	オンライン	イベントの開催延期 講師交流会	2	2
			15	〃	キッズダンスの配信	2	230
12	20	No Wall	講師交流会	1	3		

<p>目標の達成状況</p>	<p>イベントの準備でのやり取りや SNS を通して、ワークショップの出店者、講師の方々のコミュニティが生まれ、延期の判断後も定期的にコミュニケーションを取る関係が続いており、子育てしやすいまちづくりの賛同者を増やすことができた。</p> <p>イベントが中止となったため子育て世帯の交流の場をつくることができなかったが、来年度に向けて周知することができた。</p>
<p>事業効果</p>	<p>SNS での発信を行ったことで DM を使ったコミュニケーションが容易にとれたため、講師・参加者の交流ができた。フライヤーの配布地域以外にも届けることができ、周知に関しても大きな効果を得ることができた。</p>
<p>補助金交付終了後の事業展開、今後の展望</p>	<p>(次年度以降どのように事業を展開(継続)していくのかご記入ください。)</p> <p>まずは今回中止となったイベントを開催し、子育て世帯の交流の場をつくる。また、今回の経験を活かして準備段階からの発信をするなど参加者と主催側のコミュニケーションを容易に取れる環境をつくり、多くの人を巻き込んだ事業にしたい。</p>

【事業実施状況を示す写真等】

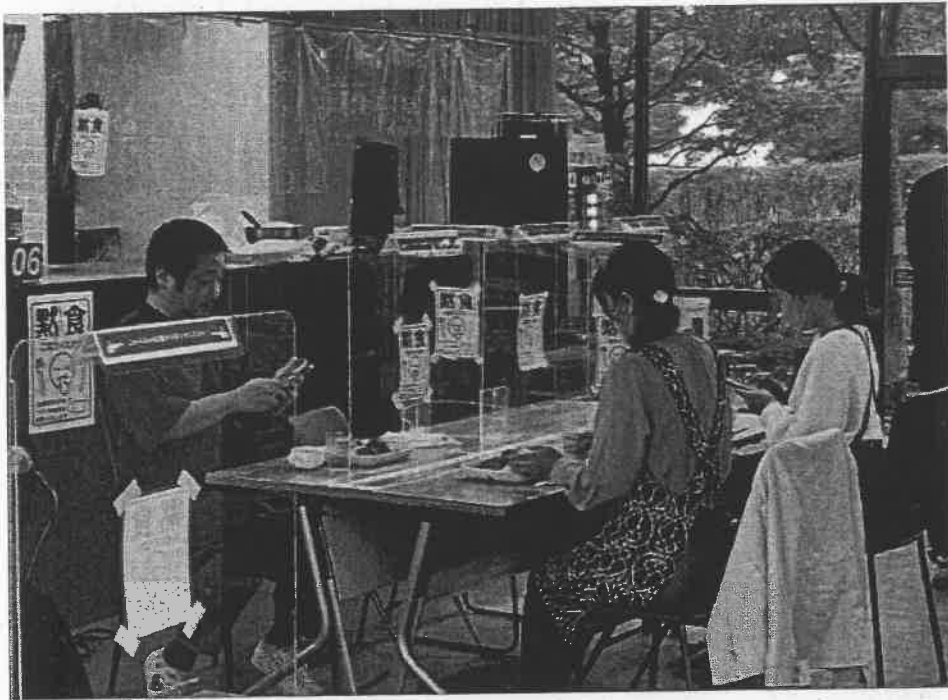


2-54 芦屋ファーマーズマーケット「暮らし野菜」/フライパン

活動地域	芦屋市
協働団体	芦屋市教育委員会 芦屋市道路・公園課 パナソニック株式会社 Synean 株式会社
事業の 目的・趣旨	<p>「農」に触れる機会をつくることで、地域の「農」への関心を高め、食材や調理にかける時間を増やしてもらうことで、時短ではなく家族の団欒の時間を増やすことを目的にしています。</p> <p>また、本事業を八百屋やレストランとの連動し、年に1度ではなく、週に1度の継続的な取り組みにできた場合は、地域間交流・地産地消に寄与できると考えています。</p>
事業内容	<p><取組みの具体的な内容></p> <p>地域ファーマーズマーケット・食育ワークショップを実施。</p> <p>場所</p> <p>>地域ファーマーズマーケット（芦屋市 宮塚公園） >食育ワークショップ（芦屋市 市民活動センター）</p> <p>詳細></p> <p>兵庫県各地から5の農家を招き、農に関連する事業者を4あわせて9ブースをつくり、野菜などの販売を行いました。（農家には販売するだけでなく、農業の現状などのお話などを積極的に行っていたいただきました）</p> <p>また、同時に食育ワークショップ Kitchen Lab を開催し、地域の人たちと一緒にメニューを考えたり作ったり食べたりなどの勉強会を実施しました。</p> <p>対象者>芦屋市民 95000 人。主に未就学児、小学生の子どもを持つ約 6000 世帯の家庭。</p> <p><事前></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家へ搬入、搬出の注意事項の連絡をしました。 ・公園所轄の芦屋市道路・公園課との調整をしました。 ・地元、自治会への事前連絡・説明をしました。 ・イベントチラシの配布。スタッフ募集もしました。 <p><当日></p> <ul style="list-style-type: none"> ・警備員の配置(出展農家が公園内に車で搬入するため安全確保)をしました。 ・会場設営をしました。 ・ボランティアスタッフへの役割説明をしました。 <p><事後></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート集計を実施しました。

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
実施経過	4	9			出展農家への声かけ、了承	1	9
	4	10		芦屋市道路・公園課	公園のレンタル申請	1	0
	4	10		芦屋市道路・公園課 芦屋市学校教育課	後援依頼 チラシ制作 小学校配布	4	0
	4	12	11	芦屋市宮塚公園	ファーマーズマーケット実施	8	1000
	5	1			出展農家アンケート集計	1	9
目標の 達成状況	<p>① ファーマーズマーケット開催回数>1回>>>達成</p> <p>② 参加目標人数>2000人>>>>>>>>>>>>未達成 1000人</p> <p>③ うちワークショップ参加者 50人程度>>>>未達成 12人</p> <p>コロナウィルスの感染拡大を考慮し、季節の良い毎年集客できる秋ではなく、12月11日の気候の悪い時期の開催になったことで、集客が例年より悪かった。</p>						
事業効果	<p>毎年、開催することで地域にも市民も楽しみにしてくれてる人、農家と顔見知りになってきている人などが現れ、ただの買い物ではなく、農村部と都市部（芦屋市）がつながっている。</p> <p>公園での開催なので、子どもも多く農家の話や枝付き、葉付きなどの野菜を目にすることも多く、食育に寄与している。</p> <p>また、地域の知らない人同士と一緒に調理するイベント Kitchen Lab では普段話さない人たちが調理を通してコミュニケーションすることで新たな繋がりが生まれた。</p>						
補助金交付 終了後の 事業展開、 今後の展望	<p>(次年度以降どのように事業を展開(継続)していくのかご記入ください。)</p> <p>参加ブースの農家とパン屋さんがコラボしてつくったパンが大人気で1時間以上待ちの長蛇の列となっていた。</p> <p>来年度は、万博も近づいてきているので、阪神・兵庫の特色でもあるパンをアピールしたファーマーズマーケットにしたい。</p> <p>兵庫野菜(農家)とパン屋のコラボしたマーケットの開催</p>						

【事業実施状況を示す写真等】



兵庫県阪神南県民センター 県民交流室 県民・産業振興課

〒660-8588 尼崎市東難波町 5-21-8

TEL: 06-6481-4397 / FAX: 06-6482-0579